

□ 2024年度版

滋賀大学

ゼミ紹介冊子

滋賀大学ゼミナール協議会

はじめに

ゼミナール協議会とは?

私どもゼミナール協議会は、学生の勉強生活の発展と向上を主な目的として活動している団体です。主に以下の活動を行っております。

1 学内ゼミナール大会

2 講演会(懇親会)

経済学部生の興味がある分野で活動しておられる講師の方をお招きし、実社会に対する知識を教授していただくことで本学部生の意識向上及び進路選択の参考となることを目的としています。

3 就職活動支援行事

就職活動を控える学生の就職への意識向上、修練を目的とし、模擬面接や模擬GD、懇親会を行っています。本学より先生方や四回生内定者のご協力を仰ぎ、面接官を務めていただいています。

4 インナー大会、インター大会の運営

ゼミ協の全国組織(日本学生経済ゼミナール)が開催する学術プレゼン大会の企画・運営を行っています。毎年1000人以上の学生が参加し、滋賀大生も毎年決勝まで進出しています。

5 ゼミ活動援助金の支給等

ゼミ活動において発生した費用をゼミ協から援助する活動です。

ゼミナール協議会は、全国の他大学と大規模な学術組織(日本学生経済ゼミナール)と連携し、様々な方面から学生を支援しています。

ゼミナール協議会と聞いて、堅苦しいイメージを持たれるかもしれませんが、個性的で楽しいメンバーが集まっています。ゼミナール協議会では自分の思い次第であらゆることに挑戦でき、その可能性は無敵大です。

何時でもご連絡をお待ちしております。

Mail : shiga.zemikyou@gmail.com

学内ゼミナール大会とは?

学内ゼミナール大会とは、来年度、専門演習(ゼミ)を履修される二回生の皆さんに、ゼミとはどういったものかを紹介し、ゼミの選定を補助するイベントです。主催しているのは、私どもゼミナール協議会です。

こちらのゼミナール紹介冊子を事前に配布した上で、現役のゼミ生が待機するブースを回ることで、ゼミに対する理解をさらに深めてもらおうと考えています。各ゼミのブースの詳細についてはホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

『ゼミ』とは、三・四回生で履修しなければならない必修科目ですが、二年間同じ教員のもとで学ぶことができるゼミで過ごす時間は貴重です。この機会を最大限に活かし、来たるゼミ生活の充実に役立てて頂ければ幸いです。

今年度は下記の日程で行いますので、是非ご参加ください。詳しい日程・参加ゼミについてはホームページに記載しますので、ホームページをご覧ください。

学内ゼミナール大会

期間:令和 5年 10月 8日(土) 13時～
形式:対面(滋賀大学)

▼ホームページ URL

<https://shigazemikyou.wixsite.com/website-1>
HPのパスワード:shigazemi2023

▼HPのQRコード



【学ゼミ参加アンケート】

- ・学内ゼミナール大会と本冊子に関する 選択式のアンケート です(一部自由記述)。
- ・「学ゼミに参加する予定ですか？」など 全6問 のアンケートです。
- ・今後の活動の参考にいたします。
- ・大会前までにご回答よろしくお願いします。



→QRコードもしくは下の URL から <https://forms.gle/XfbwYzTJ4AkbLZzt7>

【ゼミ紹介冊子の使い方】

目次


はじめに…………… 1

経済学科

□□ □□□ゼミ ……4,5

○○ ○○○ゼミ …… 6

△△△ △△ゼミ ……7,8



<https://forms.gle/XfbwYzTJ4AkbLZzt7>

2

① ゼミ名・ページ番号をクリックすると、該当ページに遷移します

② QRコード、URL をクリックすると、リンク先に移動します

③ 下部ページ番号をクリックすると「目次」に戻ります

※一部ご利用いただけない場合がございます

目次

はじめに	1
目次	3

経済学科

石井 利江子ゼミ	5,6
金 秉基ゼミ	7,8
佐野 洋史ゼミ	9
田中 勝也ゼミ	10
田中 英明ゼミ	11
中野 桂ゼミ	12
松田 有加ゼミ	13
御崎 加代子ゼミ	14
森 宏一郎ゼミ	15
山田 和代ゼミ	16
和田 佳之ゼミ	17

ファイナンス学科

楠田 浩二ゼミ	19
村松 郁夫ゼミ	20
室 徳圭ゼミ	21

企業経営学科

小野 善生ゼミ	23
喜田 昌樹ゼミ	24
澤木 聖子ゼミ	25
柴田 淳郎ゼミ	26
清宮 政宏ゼミ	27
陳 韻如ゼミ	28,29
内藤 雄志ゼミ	30
山下 悠ゼミ	31

会計情報学科

笠井 直樹ゼミ	33
可児島 達夫ゼミ	34,35
野田 昭宏ゼミ	36
宮西 賢次ゼミ	37,38,39

社会システム学科

出原 健一ゼミ	41
竹村 幸祐ゼミ	42
冨田 健一ゼミ	43
西村 正秀ゼミ	44
能登 真規子ゼミ	45
坂野 鉄也ゼミ	46
福浦 厚子ゼミ	47
松下 京平ゼミ	48
宗野 隆俊ゼミ	49

データサイエンス学部

川井 明ゼミ	51
--------	----

編集後記

※Ⅰ・Ⅱゼミは3回生時、Ⅲ・Ⅳゼミは4回生時に受けるゼミのことです。

※本冊子にはゼミ紹介文を提出していただいたゼミのみを掲載しております。

※各専門演習(ゼミ)の正式な内容はシラバスに載っています。必ず確認するようにしてください。

経済学科

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

大学院生のころから一貫して、公共入札に関する実証分析をしています。入札談合を発見するにはどうすれば良いか？入札環境の違いに対して入札者がどのように反応するか？手抜き工事はどんな時に発生するのか？といった、公共入札や公共工事にまつわることを研究しています。

データをいろいろな角度から眺めると、それまで見えなかったものが急に増えてきたような感覚を味わえる瞬間が、ごく稀に訪れます。そんな瞬間を気長に待ちながら、毎日ちまちまとデータをいじっています。

【先生より】

石井ゼミでは「社会に出る前に、ぜひデータに基づいた仮説検証を経験してほしい」という思いから計量経済学を主として勉強しています。

分析の基礎理論の考え方や、分析中の試行錯誤の経験は、学生が社会に出た後にとっても役に立つものだと思います。少人数のゼミでこそ、その経験をしてもらいたいと思っています。

【連絡先】

rie-ishii@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

(3年生)

3年生の春学期はデータ分析の演習を行う予定です。Rというソフトを使います。

2023年度は「計量経済学」(西山慶彦ほか、有斐閣)と「Introduction to Econometrics with R」(Hanckほか、オープンアクセス)という2冊の教科書を使い、統計、計量経済学、Rを使ったデータ分析を進めてきました。

秋学期は、さらに発展的な内容を学習したのち、各自が研究プロジェクトを立ち上げます。一人ひとりの興味や問題意識に沿ってテーマを決め、データを集め、分析手法を選び、実際に分析して論文にまとめるという一連の作業を経験します。

(4年生)

4年生の春学期は、卒論のテーマを選び、先行研究となる論文を読み、データを探す、といった作業を何度か行ったり来たりしながら、研究の骨格を作っていきます。

夏休みから秋学期にかけてデータ収集、分析を行い、晩秋から冬にかけて論文を仕上げていく、というのが典型的なスケジュールです。

4年生は3つ程度のグループに分かれ、グループごとに交代で研究指導を受けます。そのため、4年生は毎週ゼミがあるわけではありません。

【活動時間】

金曜日3限(3年生)、4限(4年生)

3年生の授業は延長することが多いので、金曜日4限に授業を入れないでください。

【課外活動】

ほぼありません。

【卒論テーマ】

企業の研究開発投資が全要素生産性に与える影響

非認知能力の学力への影響

技術進歩が所得格差に与える影響の分析

新幹線の開通が地方経済に与える影響

東南アジア経済共同体がベトナムの農業発展に与える影響

オリンピックの経済効果

中日の来場者数における松坂効果の測定

機械学習による競馬予想

など

【ゼミ生より】

石井ゼミでは、Rを用いたデータ分析を行います。授業では各班に分かれて、教科書の内容について

PowerPointでの説明や、Rを実際に用いての演習を行います。事前知識は一切必要ありません。また学習の中でわからないことや、うまくいかないことが出てくるかと思いますが、先生が丁寧に教えてくださるので特に心配はありません。Rに興味がある方や、データ分析について学んでみたいという方にはおすすめかと思います。

私たち石井ゼミでは計量経済学とRを使ったデータ分析を学びます。教科書に沿って基本事項から演習をしていくので、事前知識は必要ありません。授業では担当班ごとにPowerPointを用いて、説明を行ったりRを用いた実演を行ったりします。適度な勉強時間で十分ついていけるような内容になっています。また先生はどんなことでも優しく気さくに教えてくださるので、安心してゼミに臨むことが出来ます。もちろんデータ分析の手法や考え方についても大変勉強になり、有意義な時間を過ごせるゼミとなると思います。

3年生のゼミでは、計量経済学の理論と統計分析ソフト「R」を使った演習をしました。理論を学んだ上で、「R」でサンプルデータを用いてデータ分析をしていきます。ゼミの時間中は、それぞれが担当するテキストの範囲を決め、その範囲について他のゼミ生にプレゼンテーション形式で説明しますので、計量経済学に対する理解だけでなく、プレゼンテーションの練習も多くでき、能力向上につながると思います。データ分析ができるようになると、卒業論文などを書く際にテーマの選択肢の幅や内容が大きく広がります。

経済学科

石井 利江子ゼミ ISHII RIEKO

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ： 8人

専門演習Ⅲ・Ⅳ： 9人

【就職(進路)状況】

各種メーカー、金融機関、保険会社、公益団体、ITコンサルティング、公認会計士、地方自治体、国内大学院など

【入るための目安(条件)】

英語と数学に抵抗がないこと。

統計学A、Bを履修済みもしくは履修中であることが望ましい。(入ってからが楽で、かつ効果的に学習が進められます。)

I. ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

- ①途上国の経済・社会開発と持続可能な開発
- ②国際開発協力と開発援助(ODA等)
- ③インドシナ諸国の貧困削減、農村開発等
東アジア(中国、韓国、北朝鮮)や東南アジア(インドシナ半島)の経済開発政策と国際協力についての研究を行っている。また、インドシナ半島における農村地域の貧困削減の研究の一環として途上国現地で家計調査や焼畑調査等を行っている。

【先生より】

貧困や飢えに苦しみ、教育や医療を満足に受けられない人々が世界人口の8割以上を占めている。5人に1人が1日1ドル以下で暮らしている。6人に1人が安全な水を利用することができず、3秒に1人の子供の命が失われている(JICAより)。こうした途上国にとって経済・社会開発は必要なのか。必要であればどうすれば開発が可能になるかについて考えてみませんか。途上国現地を訪れて自分の目で直接見ることで途上国の貧困状況や日本及び国際機関が行っている開発援助の必要性を理解するきっかけを与えることがゼミの目標の一つである。金ゼミは、ゼミ生自身がゼミ活動を企画・運営・評価する学生自主ゼミである。

【連絡先】

b-kim@biwako.shiga-u.ac.jp

II. ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

地球上では貧困、紛争や内戦、テロ、環境破壊、感染症の蔓延、汚職と腐敗、人権と男女差別など様々な問題が発生しているが、これらのほとんどは途上国で起きている。国際社会の平和と国・地域が相互繁栄するためには、開発援助や国際協力は不可欠である。途上国が置かれている現状を正確に理解するとともに、先進国や国際機関が行っている開発援助を理解する必要がある。金ゼミでは、途上国が抱えている諸問題や援助政策、開発理論、不平等等を学んだうえで、それらを実際の問題に適用して解決策を探ることを目標とする。また、社会の諸問題を分析するために必要なデータ分析のスキルを学べる機会を提供する。

(Keywords) 貧困削減、経済・社会開発、人間開発、農村開発、MDGs/SDGs、データサイエンス

【活動時間】

学期中のゼミでは、開発経済に関する経済理論、世界経済、途上国の諸問題、自由と開発、女性と開発、教育と開発等をテーマにして研究、発表、ディベートをしたり、統計資料や参考文献を収集する。夏休みや冬休みには海外ボランティア及び海外研修を行う。

【課外活動】

- ①途上国の現状を理解するために、途上国現地の大学での国際交流や小学校でのボランティア活動(ラオス国立大学、3回生の夏休み)。NGOや企業との協力による途上国支援活動や途上国現地の企業訪問。途上国に進出しているJICAやJETROを訪問。
- ②韓国啓明大学を訪問し、現地の大学生と交流(3回生の冬休み)
- ③グローバル企業が集積しているシリコンバレー(米国カリフォルニア州)でイノベーションやスタートアップ(起業)について2週間の研修。Google, Apple, Intel, Teslaなどの企業訪問。サンフランシスコを楽しむ。

【卒論テーマ】

途上国の経済・社会開発(開発と貧困・不平等・自由・女性・安全保障)、国際協力と開発援助、持続可能な開発、国際機関(UN, World Bank, OECD, JICA)と開発援助など国際経済関連分野

【ゼミ生より】

金ゼミの一番の特徴は学生自主ゼミである点です。普段のゼミの活動方針からラオスプロジェクトの運営や学外の論文大会への参加までゼミに関するほぼ全てをゼミ生主体で行います。自由度が高いためその楽しさがあります。また、自主ゼミであること以外にも金ゼミでしか経験できないことが沢山あります。興味を持った方は金先生とお話してみてください！温厚でとても親しみやすい先生です！

【人数】

I・IIゼミ:男10 女10

III・IVゼミ:男13 女4

【就職(進路)状況】

日本郵船、日本郵便、関西電力、中部電力、伊藤忠丸紅テクノスチール、鈴与商事、堀場製作所、モリタ制作所、岡谷鋼機、日本電産、JAL、ANA、山善、Global Mobility Service、りそな銀行、りそなHD、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJリサーチ&コンサルティング、アビームコンサルティング、みずほFG、三井住友銀行、SMBC日興証券、京都銀行、名古屋銀行、滋賀銀行、日本生命、住友生命、積水ハウス、富士貿易、船井総合研究所、オービック情報通信、地方公務員(滋賀県庁、岐阜市役所、野洲市役所)、大学院進学(京大、神大、名古屋大学、滋賀大)、交換留学や私費留学(米国、カナダ、オランダ、メキシコ、豪州、タイ、韓国等)、トビタテ留学(タイ、セネガル・英国、アルゼンチン)

【入るための目安(条件)】

- ①途上国と国際協力に関心があり、海外ボランティア活動に参加できること。
- ②自ら国際交流及び海外ボランティア活動を企画・実施・報告することに関心があること。
- ③絶対条件ではないが、経済学の基礎知識を身に付けていることが望ましい。

佐野 洋史ゼミ SANO HIROSHI

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

医療、介護、年金、育児、労働など、日本の社会保障が抱える問題の原因究明と、解決策の導出に取り組んでいます。近年では、産科・小児科医の勤務先の選択要因について研究しています。これまでには、医師がへき地勤務で重視する要因や、医師の医薬品の選択要因、介護労働者の勤務先の選択要因、がん検診の受診勧奨策などについて研究しました。

【先生より】

本ゼミは、経済学を通して社会保障問題の原因と解決策を考えます。3回生はグループ研究、4回生は個人研究を行うことが、基本的なゼミ活動になります。加えて、3・4回生合同のゼミ合宿や、学生がゼミで行いたいことを積極的に取り入れていきたいと思えます。学生と相談しながら、ゼミ活動の内容を充実させていきたいと考えています。そのため、学生にはゼミに積極的に参加し、発言する意欲があることを求めます。

【連絡先】

hi-sano@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

3回生のゼミでは、グループ研究に多くの時間を使います。グループ研究は社会保障に関するテーマを取り扱い、その成果は他大学のゼミも参加する日本学生経済ゼミナールの研究発表大会(例年10月末～11月の日曜日に開催)などで発表してもらいます。その他、夏休み中に企業・工場見学やゼミ合宿(4回生と合同)などを行う予定です。

4回生のゼミでは、グループ研究で培ったノウハウを活かして個人研究を行い、卒業論文を作成してもらいます。その他、学生の意見を踏まえてゼミ活動の内容を決めたいと思えます。

【活動時間】

3回生のゼミ(専門演習Ⅰ・Ⅱ)は水曜日3限、4回生のゼミ(専門演習Ⅲ・Ⅳ)は水曜日4限に行います。

サブゼミの時間は特に設けません。ただし、例年グループ研究の遂行のために、ゼミ以外の時間にも学生が自発的に集まって議論・作業しています。

【課外活動】

企業・工場見学やゼミ合宿などを行います。行き先は、学生の希望を踏まえて決めます。新型コロナウイルスの影響のため中止した2020、21年を除いて、これまでに兵庫県や愛知県の明太子工場、愛知県のコカ・コーラ工場、山梨県のアイスクリーム工場、福井の酒造などを見学し、ゼミ合宿を行いました。

その他、歓迎会や新年会、送別会なども行います。

【卒論テーマ】

過去のゼミ生の卒論は、医療、介護、年金、育児、労働、生活保護といった社会問題に対する解決策を研究したものが多いです。

ただし、卒論のテーマは社会保障に限定していません。就職先の企業・業界に関する卒論でも構いません。

【ゼミ生より】

佐野ゼミは滋賀大学で唯一の社会保障系のゼミで、4回生では個人研究を、3回生ではグループ研究を行い、学外の発表大会に出場、研究発表することをメインに活動しています。ゼミに関して不安や緊張があっても、グループで活動するので大丈夫！みんなで助け合うことができ、とても充実した研究ができます！また、ゼミ生の中には、部活やサークルで幹部をしながらゼミも頑張っている人もいますので、ゼミとの両立ももちろんできます！勉強以外にも、ゼミ飲み会やゼミ合宿、BBQなども行っていて、このようなイベントを通してゼミ生や先生との距離が縮み、ゼミでの時間をより楽しいものにすることができます！

アットホームで過ごしやすい、魅力いっぱいの佐野ゼミで是非一緒に学びましょう！

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:18人

専門演習Ⅲ・Ⅳ:18人

【就職(進路)状況】

生命保険会社、医療機器メーカー、専門商社、都市銀行、地方銀行、ITサービス会社、システム開発会社、化学メーカー、重工業メーカー、電機メーカー、住宅メーカー、インフラ企業、人材紹介企業、情報通信企業、製薬企業、不動産会社、物流企業、自動車販売金融企業、航空会社、国家公務員(検察庁、労働局、国税、税関)、地方公務員(府・県庁、市役所)など

【入るための目安(条件)】

医療、介護、年金、育児、労働といった社会保障の問題に関心を持ち、ゼミ合宿などのゼミ活動に積極的に参加する意欲があること。

ゼミ人数の目安は15名程度とし、希望者多数の場合は選抜します。

田中 勝也ゼミ KATSUYA TANAKA

注意:本ゼミは経済・DS両学部の手合型式になります(各学年、合計4-5名程度の小規模ゼミです)

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

都市の持続可能性、特に環境・防災・経済がバランスした都市の実現のためのデータ分析・政策提言を推進しています。

重点テーマは、グリーンインフラ(自然や植物が有する雨水の貯留・浸透により都市の洪水リスク軽減、生態系保全、地域の魅力向上を実現する取り組み)および防災です。

モビリティミックス(特に公共交通と自転車を活用した持続可能な交通)や、災害避難行動、災害コミュニケーションなども重点テーマです。

主な対象地域は、国内主要都市およびオレゴン州ポートランドです。

担当教員・ゼミ生による研究成果は研究室HPをご覧ください。⇒



【先生より】

卒論研究を査読付き学術論文として社会に発信するためのゼミです。かなりハードな内容でゼミ生には相当の努力が求められますので注意してください。

ゼミの雰囲気は企業HPに掲載された紹介記事を参考にしてください。⇒



【連絡先】

tanakak@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

以下のスケジュールで、査読付き学術雑誌への論文投稿・掲載を目指します。

3年春学期:共通基礎の学習(研究とは何か、論文の読み方、先行研究レビュー、文章執筆方法、環境・経済データ分析等)

3年秋学期:研究テーマの決定、必要なスキルの学習(QGIS, Qualtrics, R, Stata等、選択したテーマにより異なる)

4年春学期:データの収集・分析

4年秋学期:論文執筆・投稿(テーマにより学会報告)

【活動時間】

3回生:金曜3限、4回生:金曜4限

【卒論テーマ】

以下は、過去ゼミ生による研究テーマの例です。

- ・携帯位置情報による災害時避難行動のモデル化
- ・グリーンインフラに対する支払意思額の推定
- ・企業のグリーンインフラの受容性分析
- ・交通静穏化に対するポートランド市民の選好
- ・スマートモビリティの社会的影響

【ゼミ生より】

このゼミは、経済学部とデータサイエンス学部の手合ゼミです。経済学的な視点、データサイエンス的な視点により議論が行えます。少人数のため1人1人しっかり取り組むことができるほか、自分の名前が書かれた論文が学会発表されるなど研究にやる気がある人にはおすすめです。

【人数】

専門演習 I・II:男3人 女2人

⇒ DS学部1人 経済学部4人

専門演習 III・IV:男3人 女1人

⇒ DS学部1人 経済学部3人

【就職(進路)状況】

- ・公務員
- ・データサイエンティスト
- ・コンサルティング企業
- ・進学(国内・海外大学院)

【入るための目安(条件)】

ゼミの条件は①モチベーションがあり自ら学ぶ姿勢がある(受け身ではない)こと、②上記研究テーマに関心があること、の2点です。

ゼミと学生のミスマッチがないように、事前面談を必須としています。関心のある学生は、メールでアポイントの連絡をお願いします。面談をしていない学生は受け入れられませんので、注意してください。何事にも前向きで、高いモチベーションを持つ学生を歓迎します!

田中英明ゼミ TANAKA HIDEAKI

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

貨幣・信用機構を中心に、資本主義経済システムの歴史的進化を読み解くための基礎理論

主著『信用機構の政治経済学—商人的機構の歴史と論理』（日本経済評論社 2017年）

【先生より】

自分の学生時代を思い返してみても、やはりゼミでの発表の時の緊張感や、ちょっと背伸びした議論、はたまたゼミの仲間とのあれこれが真っ先に思い出されます。このゼミでも、単なる知識というよりも、考え方や課題の見つけ方、報告や議論の仕方こそを、そして心置きなくつきあえる仲間を、一生の財産としてほしいと願っています。

【連絡先】

tanaka@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

ゼミ内を3, 4名程度でグループに分けて、特定のテーマについて輪読、意見交換、またそこで出た意見のグループ発表、グループ対抗のディベート戦などを中心に活動をしています。

【活動時間】

グループ発表やディベートの準備などでは、必要に応じてグループ内で相談し、昼休みや空き時間を利用してTeamsやLINEなどを活用したサブゼミや進捗状況の確認などを行っています。

【課外活動】

コンパなどの活動は、ゼミ生の企画次第です。過去にはゼミ生の主導でゼミ協主催の学内発表への参加や、ゼミ合宿を行った年もあります。

【卒論テーマ】

グループ研究を発展させ、地域社会の活性化などを検討したものが多いです。ただ、研究テーマについてあまり限定はしていません。各自の進路などを踏まえて選択する結果、毎年多様なテーマの卒論がみられます。

【ゼミ生より】

「地方創生」について考える機会は様々な講義であると思いますが、そのような講義では扱わないような視点から主体的に研究し、グループ内でさらに意見を交換してプレゼン・ディベートができるような機会は少ないと思います。ですので、このような「地方創生」に強く関心を持っている方にはおすすめです。また、男女ともに仲良く、ゼミ自体もゆるくもきつくもないという雰囲気であるため、楽しく活動に参加できます。

【人数】

専門演習Ⅰ：男13人 女3人

専門演習Ⅱ：男12人 女4人

【就職(進路)状況】

ゼミ卒業生の就職先は、製造業や金融がやや多いですが、多様な業界や公務員(財務省、県庁、市役所、税関など)に進んでいます。大学院への進学者もいます。

【入るための目安(条件)】

所属学科や学習類型は問いません。「地域社会の危機と再生」というテーマにグループ発表やゼミ内のディベートを中心に、それぞれの知識と習得したツールなどを活用して挑みます。

コミュニティの再構築、格差と福祉、環境などの諸問題に興味や関心を有する学生を歓迎します。

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

統計学入門から上級レベルまでを習得を目指します。
また公共経済や地域経済を中心に学習を各自で研究、
調査をしてグループワークで最終的には発表をするということになります。SDGSなどの多様性などを学ぶ機会にも広がります。
プラスアルファで教授から統計検定の勉強の補助をお願いすることができます。

【先生より】

多様性を大事にしたいと思っています。
やりたいことが明確に決まっている人も、そうでない人も歓迎します。お互いに刺激しあいながら成長できる環境づくりをしていきたいと考えています。

【連絡先】

knakano@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

3回生はTableauやJMPといった統計分析ツールなどを使用して、統計学の勉強します。それと同時に3~4名程度でグループ研究あるいはグループプロジェクトに取り組んでいます。テーマは自由です。

4回生は、グループ研究での経験を活かして、卒論研究に取り組んでいきます。

【活動時間】

毎週月曜日 3限目

【課外活動】

授業外で懇談会があります

【卒論テーマ】

【ゼミ生より】

我々中野ゼミは楽しく和気あいあいと各々の研究を教授のご指導のもと頑張っています。就職先は幅広く、世界銀行でお勤めの方や、様々な業界でご活躍されています。全体としての仲はとても良くアットホームの環境です！ぜひご検討お願いします。

懇談会では先輩と後輩の境界がなく、就活の相談や将来相談などもでき、たくさんの学びを得ることができとてもお勧めです！

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:16人

専門演習Ⅲ・Ⅳ:19人

【就職(進路)状況】

金融、メーカー、公務員など進路は様々です。
変わったところでは、コンサルやデータサイエンティスト、ゲームソフトメーカー、国際公務員、起業家などになった人もいます。

【入るための目安(条件)】

多様性を大切にしたいと思いますので、特に条件は設けてはいません。

松田有加 MATSUDA YUKA

I.ゼミの先生のプロフィール

【現在の研究課題】

グローバル経済における租税システムについて主に研究しています。

【研究活動】

OECDやEUにおける税制に関する経済のグローバル化への対応、グローバル化は日本の税制にどのような影響を及ぼしてきたかなどについて取り組んでいます。

【教育方針】

自主的な取り組みと個々人の多様性を尊重します。

【先生より】

本ゼミは、基本的に財政学のゼミです。そして平成25年度のゼミ生が1期生なので、まだ始まったばかりです。今後ゼミ生と相談しながら、進めていこうと思います。

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

春学期は財政学の基礎について学びます。テキストの内容を各章分担し、簡易的なレジюме作成とプレゼン・ディスカッションを行います。その後自分の興味のある分野を見つけ、卒論テーマとして研究を進め、各自報告していくという流れになります。その他、四回生の卒論発表やフィールドワーク前後の調査報告などがあります。

【課外活動】

特定の場所はありませんが、基本的にゼミ生の希望で行います。

【ゼミ生より】

財政学は地域経済、税制、社会保障制度といった様々な分野に関連しています。毎週の担当者プレゼンとディスカッションによって、財政学の基礎と一緒に、レジюмеのより良い作成方法や現在の制度と関連した知識を深めることができます。

【人数】

Iゼミ: 男9人

IIゼミ: 男4人

【就職(進路)状況】

村田機械、中日新聞社、税理士法人TACT高井法博会計事務所、製薬会社 など

【入るための目安(条件)】

どなたでも

【アピールポイント】

- ・研究の幅が広く、自分の興味のある分野に取り組める。
- ・早い時期から卒論に取り組み、参考になる上回生の卒論発表が聞ける。
- ・積極的に質疑応答できる場があるので、お互いに内容の理解を深められる。

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

現代経済学の基礎を築いたレオン・ワルラス(1834-1910)の経済思想を中心に研究しています。主にスイスやフランスを中心に国際的な研究活動を行っています。研究活動の詳細については、私のウェブサイト

<https://kayokomisaki.com/>でお知らせしているので、ご覧ください。

【先生より】

御崎ゼミは、経済学史の授業です。経済学の歴史や思想的な側面に興味がある人を歓迎します。

ゼミでは、個人の研究報告を中心に進めますので、共同で一つのテーマを研究するというよりも、自分の好きなテーマにマイペースで取り組むことが得意な人に向いています。またコミュニケーション能力を磨くために、グループ・ディスカッションにも力を入れています。

皆さんには、自分の頭で考え決断することができる真のビジネス・リーダーになってほしいと考えています。ゼミでは皆さんの自主性を最大限尊重します。自分自身の研究テーマを見つけ、ほかのゼミ生と切磋琢磨しながら、質の高い卒論を書き上げ、「優秀卒業論文」の受賞を目指してください。

【連絡先】

kayoko@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

三回生の春学期はアダム・スミスの『国富論』を輪読します。ゼミ生各自で担当する箇所を読み進めて、プレゼンの準備をして報告します。夏休み前に各自が研究テーマを決定し、そのテーマに合った本を夏休み中に一冊読みます。その後は各自の研究を進めていき、秋学期はその研究についての個人報告を行います。

ゼミの様子は時々、Twitter「#御崎ゼミ」でお知らせしているので、ご覧ください。

【活動時間】

出席の義務があるのは月曜日3限のゼミの時間のみです。自分が担当する輪読の準備や研究は各自で行います。サブゼミはありません。

【課外活動】

2019年度以前は、夏休みに、3回生が企画する日帰り旅行に出かけていました(日本銀行大阪支店見学など)。現在は中断しています。

【卒論テーマ】

テーマは基本的に自由ですが、経済学の歴史や思想に絡めて論文を作成することが条件です。御崎ゼミは毎年、「優秀卒業論文」を受賞しています。SULMSから過去の優秀卒業論文を参照してください。

【ゼミ生より】

御崎ゼミは春学期に『国富論』の輪読、秋学期に個人研究の報告を行います。輪読は各担当箇所を読み、内容についてプレゼンを行います。先生からのフィードバックがあるため、プレゼンに慣れていなくても大丈夫です。最後には問題提起を行い全員で意見を出し合います。毎週様々な観点から意見が飛び交う良い空間となっています。

ゼミ全体では質の高い卒業論文を作成することを目標としています。3回の春学期のうちから卒業論文の方向性を考え始められるため、時間をかけて研究を行うことができます。

自分のやりたいように作業を進められるため、一人で物事に取り組むのが好きな人には向いていると思います。この先も役立つようなスキルを培えるゼミであるため、興味があれば応募してみてください。

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:8人

専門演習Ⅲ・Ⅳ:7人

【就職(進路)状況】

(2021年・2022年・2023年卒業生) アルペン、大塚商会、オービック、岐阜市役所、山九、滋賀労働局、第一生命保険、名古屋高速道路公社、キャノンITソリューションズ、コンドーテック、ビーネット。

【入るための目安(条件)】

経済学史のゼミなので、経済学の歴史や思想に興味がある人に向いています。ゼミ生の選抜では、志望動機が良く書けている人から優先的に入ってもらっています。成績はあまり関係ありません。皆さんの応募をお待ちしています。

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野】

- サステナビリティ学
- 都市のサステナビリティ
- 環境経済学
- 環境マネジメント
- 医療政策

【先生より】

- 学生と知的に面白いことをやりたいと思っています。学問を楽しみたい学生が来てくれるとよいと思っています。
- 企業コンサルティングやシンクタンクなどで実務をしていたため、学問と実践の境界領域・相互作用に関心を持っています。
- ゼミ生が想定外の素晴らしい可能性や未来を見つげられるゼミにしたいと考えています。

【連絡先】

Email: ko-mori@biwako.shiga-u.ac.jp

電子メールで連絡してください。対面またはオンラインで話することが可能です。

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

3年生

- ◆ 多様な日本語文献を読み、プレゼン・議論を積み重ねます。ハウツー本や小説などの軽い本から学術書まで多彩な本を読みます。
- ◆ 英語文献も読む可能性があります。
- ◆ 統計学・計量経済学、フィールドワーク法、インタビュー法、アンケート調査法の基礎を学びます。

4年生

- ◆ 卒論プロジェクトを実施します。
- ◆ 卒論を完成させ、報告会で発表してもらいます。

【ゼミ時間】

金曜日3・4限を予定しています。実際には、金曜日の午後を全て使います。この点を予め了解のうえ、希望してください。

【課外活動】

- 過去には、ゼミ遠足、フィールドワーク、自炊塾、チェアリングなどを実施してきました。そのため、学生と相談の上、金曜日を空けてもらったりしています。
- 過去にはゼミ合宿も実施しました。

【卒論テーマ】

経済学、経営学、社会学、サステナビリティ学、環境経済学など多様です。

【ゼミ生より】

- 学問・議論・実践を楽しくやりたい人が向いています。受け身一辺倒の人は向いていないでしょう。
- 卒業生たちとつながっていて、多面的に自由に交流・コミュニケーションを取れます。

【人数】

専門演習 I・II： 2人

専門演習 III・IV： 5人

【就職(進路)状況】

色々なところへ就職・転職・進学しています。

【入るための目安(条件)】

- 教員や他の学生たちときちんとコミュニケーションを取ること。
- 課題の文献をきちんと読んでくること。
- 手がけている課題に対して、労を惜しまずに取り組むこと。
- 知的に面白いことをやりたいと思っていること。



屋外チェアリングゼミの風景

山田 和代ゼミ YAMADA KAZUYO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

学部・大学院の時に労働問題に大変興味をもち、歴史的背景や労働運動、雇用制度などの研究をしてきました。最近ではアジアの労働市場、特にベトナムにも関心を広げて現地調査をしています(コロナ禍中は調査待ち)。

- ・日本の労働に関するジェンダー研究
- ・若年女性の生活の質研究(生活実態や主観的幸福度について分析)
- ・ベトナム労働市場と雇用制度の研究

【先生より】

多くの文献を読みながら幅広い知識を修得して、労働問題や社会問題についての理解を深めることができるゼミでありたいです。ゼミ生には研究発表をベースにしながら自分の問題関心を明確にして、卒論を完成してもらいます。しっかり勉強に励みましょう。

【連絡先】

オフィスアワーを希望(金曜日の昼休み)

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

年間を通じて、文献テキストについて議論したり、ゼミ生の問題関心にそって個人報告をしたりしていきます。日頃勉強している、あるいは勉強してきた知識を応用しながら、各自の研究課題を設定して卒論作業に取り組んでもらいます。ゼミ学習の基本は「多読」と「プレゼン」で構成されています。

2023年春学期の3回生ゼミでは、マッシュュー・サイド『多様性の科学』を読んでいます。秋学期には個人研究の発表を増やします。ゼミ生間で知識を共有し、議論を積み重ねて卒論完成を目指します。

【活動時間】

時間割上の専門演習

【課外活動】

特に設定はしていませんが、ゼミ生の希望があれば工場や事業所への見学を皆で計画しています。これまで様々な工場へ見学に行きました。

【卒論テーマ】

労働問題を取り上げる学生が多いです。例えば、次の内容です。

- ・正規・非正規の格差問題
- ・ブラック企業
- ・有給休暇取得率の向上
- ・女性政策
- ・外国人労働問題
- ・働き方改革
- ・ベーシックインカム

- ・AIと雇用
- ・長時間労働
- ・カスタマーハラスメント
- ・教員の過重労働問題
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現策
- ・サードカルチャーキッズの現状と支援状況
- ・高齢者雇用
- ・ギグ・ワーカー、など。

【ゼミ生より】

2023年度の専門演習I・IIでは男4人、女5人が所属しています。春学期は文献を読みその内容について発表、議論しながら卒業論文に向けて個人研究テーマを模索していました。ゼミの時間では各個人が興味を持っているテーマについて先生とはもちろん、他のゼミ生とも意見交換する機会が多いです。みんなそれぞれ違う個人研究テーマを検討しているためあらゆる視点からの議論がなされ、その過程で自分の知識や興味関心を多種多様な分野に広げることができます。また文献の内容や自分の考えをプレゼンテーション形式で発表する機会も多いです。このゼミは主体的に学びを得て、それを他者に発表できるいい場だと思います。

【人数】

専門演習 I・II : 9人

専門演習 III・IV : 8人

【就職(進路)状況】

公務員、製造業、金融業、総合商社、情報通信、海外の大学院進学など。

【入るための目安(条件)】

労働関係の講義を履修済みの方が望ましいです。労働問題に関心のある人や、文献を多読してプレゼンをしていくので、インプット/アウトプットの作業が好きな人はどうぞ参加してください。

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

環境や法律・政治問題、更にはスポーツ活動等、一般には市場取引に馴染まないと考えられているような人間活動(広義の経済活動)を、社会的に見て望ましい状態に誘導するにはどのような制度・政策が必要となるかを、主にミクロ経済学の視点から分析・解明したいと考えています。この基盤として、「あらゆる人間活動は、多かれ少なかれ、経済的価値観に支配されている」という信念があります。

【先生より】

何かに向かって意欲を持って努力することを厭わない人をゼミ生として歓迎します。その際、学問の重要性・有用性を理解していることが理想です。ゼミとしての具体的な目標や統一的な研究テーマは特に設けていません。ゼミの構成員各自が、その個性を最大限発揮できる環境作りをめざしたいと思います。こうした観点から、課外活動(部活動他)をしている人も歓迎します。

教員としては相応しくない考え方もかもしれませんが、専門演習も所詮はカリキュラム中の一科目にすぎません。講義中の活動(+そのための準備・振り返り)さえしっかりやってもらえれば、その他の時間は各自が自分の判断で有意義に過ごしてもらいたいと思います。

【連絡先】

wada@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

例年の実績を紹介すると、Iでは共通の文献を選定して輪読するのが通例で、文献の読み方や発表時の注意事項を確認します。IIでは各自の研究テーマに関する基本事項・先行研究を報告し合い、テーマを具体化・先鋭化させていきます。III以降で各自の研究活動を本格的に推し進め、最終的にIVで中間発表を通じて卒論を完成させます。ただし受講生がより発言しやすい形態に変更する場合があります。

【活動時間】

上でも述べたように、必要最低限の拘束(=授業時間)以外の使い方は、基本的に各自の判断に任せます。

【課外活動】

恒例行事のようなものは特にありませんが、受講生からの要望があれば、出来るだけ実現できるように協力したいと思います。これも繰り返しになりますが、ONとOFFの切替えさえ意識してもらえれば、むしろ講義外の諸活動を奨励します。

【卒論テーマ】

卒論は専門演習における最大の成果だと信じていますが、過去のゼミ生が選択したテーマについては実に幅広い分野に跨っています。指導教員としても特に制限するつもりはありません。比較的スポーツに関するものが多いという印象があります。

【ゼミ生より】

本ゼミは、ゼミ外で時間がとられることは少ないため、自分の取り組みたい勉強に集中することができます。また、ゼミ内でも興味のあることをテーマにおいて発表するので、充実した時間が過ごせると思います。

【人数】

専門演習 I・II:男性...13名 女性...1名
専門演習 III・IV:男性...7名 女性...0名

【就職(進路)状況】

残念ながら意に反して(または戦略的に)留年する人もいますが、過去の実績では公務員(国税局や市役所)、各種団体(私立大学やJAの職員)、民間企業(金融機関・メーカー・IT企業他)等、進路についても様々な分野・業種で活躍してくれています。

【入るための目安(条件)】

学力面では特に要求しませんが、教員(私)が喫煙しませんので、教員と同席の際にタバコを我慢できることを挙げておきます。(大学構内は全面禁煙ですが学外も含めてという意味です。)同席でなければ、喫煙していても構いません。また輪読用の書籍購入費として、1,000円程度の負担を求める予定ですので留意願います。

最後に、言うまでもないことではありますが、毎回の授業に(自分が報告者の週以外であっても)出席することを挙げておきます。もちろん、どうしても欠席せざるを得ない場合には、その旨を連絡してもらえれば考慮します。このこととも関連しますが、やる気・勉学意欲がない/わからない人は対処に困ります。

ファイナンス学科

楠田 浩二ゼミ KUSUDA KOJI

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

金融経済学・経済データ分析、特に資産運用と資産評価の理論・実証研究を行なっています。最近では、最適資産配分に関する菊池先生との共著論文を国際誌に投稿しています。

【先生より】

データサイエンティストが必要とされている時代であることを踏まえて、専門演習Ⅰ・Ⅱでは機械学習・深層学習の基礎理論(数学含む)と演習(Python)を行ないます。専門演習Ⅲ以降は出来るだけゼミ生の意向を踏まえたDSを行いますので、関心のある学生は、ゼミ選択の際に、相談にお越し下さい。

【連絡先】

kusuda@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

ゼミの代によって勉強する内容は少々変わりますが、基本的には、機械学習と深層学習の基礎を学んだ後、ゼミ生が学びたいDSを中心に勉強を進めていきます。

個人がやりたいことに柔軟に対応して下さったり、質問に答えて下さったりします。私は線形代数も同時並行で教えてもらっています。

【活動時間】

基本週1コマで、3回生の間は金曜3限、4回生の間は金曜4限に活動しています。

【課外活動】

特にありませんが、何か興味のあることや参加したいことがあれば、柔軟に対応できる環境であると思います。

【卒論テーマ】

DS関連であれば、基本的には、ゼミ生が自分の関心のあるテーマを選べます。

【ゼミ生より】

楠田ゼミは、人数が少ないからこそ、自分のやりたいことができる環境であると思います。最近、ChatGPTなどの深層学習の進歩が世間で騒がれています。これからの時代において、データを扱える人材になりたい人やデータサイエンスの知識を付けたいという人には持ってこいのゼミだと思います。

基本的に、予習してきたことを質問するといった形式でゼミが行なわれるので、主体的に勉強がしたいという人にオススメのゼミです。

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:1人

専門演習Ⅲ・Ⅳ:2人

【就職(進路)状況】

金融機関、DS関連企業、院進学等

【入るための目安(条件)】

特にはありませんが、統計学やデータサイエンス系の科目(線形代数や解析学、その他DS学部科目)をいくつか履修しているとよいかもしれません。不安な方は一度先生と面談することをオススメします。

現3回生、4回生の両方でデータサイエンス副専攻を取っている人がいるので、そのような学生も大歓迎です！

村松 郁夫 MURAMATSU IKUO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野】

企業財務論

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

専門演習 I では、ファイナンスについての簡単な本を一区切りずつ分けて読み、その内容について学んでいます。

【活動時間】

I II 金曜3限

III IV 金曜4限

【ゼミ生より】

最初は人数の少なさに驚きましたが、大学の自由に合わず、勉強が身に入っていなかった私には基礎的なファイナンスの知識を1から、個別指導に近い形で学びなおせるこのゼミがすごく合っていました。負担も少ないので、気楽に、ゆっくり学びなおしたいという人に非常にお勧めできるゼミだと思います。

【人数】

現三回生は2名です。

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

私は金融又は財政分野に関する調査研究や実証分析等に関心を持っております。これまでは、行政職員として地域金融機関の監督業務や金融機関の破綻処理等に関する金融業務をはじめとして様々な政策分野に携わってきましたが、当該経験を活かしながら、地域金融や関連する制度等に関する研究を行っています。

【先生より】

私はこれまで財務省、金融庁、行革事務局、預金保険機構など、様々な行政分野に携わってきました。こうした実務経験を通して得られた知見を活用し、理論と実際の乖離、行政が直面している課題とその解決策、あるべき姿などについて、最新の状況も踏まえながら、皆さんと一緒に考え、議論していきたいと考えています。

【連絡先】

noriyoshi-muro@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

金融または財政に関する基本的な事項やゼミ生が関心を持つようなテーマ(例えば地域金融など)に関する書籍を輪読する予定です。

【活動時間】

専門演習Ⅰ・Ⅱ：水曜3限

専門演習Ⅲ・Ⅳ：水曜4限

【課外活動】

もし可能であれば、実際に金融分野の現場で活躍する方々からお話を聞く機会が設けられる予定です。

【卒論テーマ】

卒論テーマについて教員側からの提示は特にありませんが、過去の卒業生には「地域銀行の新たなビジネスモデル」「地方銀行の地域密着経営と再編」「銀行の顧客接点」「ブロックチェーン技術」「IR」「テレビの未来」に関する論文がありました。

【ゼミ生より】

ゼミ生は指定の教科書に準拠したプレゼンを行い、そのプレゼンに基づいた議論を実施します。「金融」や「財政」と聞くと少し難しく感じられる方もいらっしゃるかもしれませんが、このゼミではそれらの知識を基礎から無理なく学べ、また分からないことがあれば先生が優しく丁寧に教えてくださいます。先生は長年の実務経験がある方ですので、金融や財政に関するあらゆる疑問に対して的確に答えてくださいます。ゼミの雰囲気はおだやかで、全員が自分の意見を話しやすいような環境が整っています。また、ゼミ内で扱う教科書や授業のスタイルなどは、先生がゼミ

生の意見を柔軟に取り入れ実現して下さるので、ひとりひとりが快適に学習を進めることができます。サークルや部活との両立も十分に可能ですので、金融や財政の話題に少しでも興味を持たれた方はぜひ室ゼミへ！

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ：10人

専門演習Ⅲ・Ⅳ：5人

【就職(進路)状況】

金融(メガバンク・地方銀行・第二地方銀行・系統金融機関・政府系金融機関・証券会社・生命保険会社)・メーカー・卸小売・地方公務員など

【入るための目安(条件)】

条件は特に設けていません。金融や財政に関する諸問題に関心があり、ゼミで一緒に考えていきたいという方々を歓迎します。

企業経営学科

小野 善生ゼミ ONO YOSHIO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

私の研究分野は、組織と個人の間を研究対象とする組織行動論です。組織行動論を構成するジャンルの中でも、特にリーダーシップおよび管理者行動そしてフォロワーシップを専門としています。

昨今では、日本における中小酒造業を研究対象として事業を抜本的に変える組織変革を実現する経営者の行動(管理者行動)を研究しています。

【先生より】

Iゼミの受講生へは、来年度の春学期では、リーダーシップとパワーをテーマに文献研究をする予定です。また、秋学期以降の研究プロジェクトに向けて研究方法論についても学びます。

秋学期は、リーダーシップやパワーに関するプロジェクト研究を実施したいと思います。

IIゼミの受講生へは、卒業論文執筆のアドバイスを行っています。なお、春学期では、論文執筆に向けた研究方法論も学びます。

【連絡先】

yoshio-ono@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

上述したような文献研究、プロジェクト研究に加えて、ドキュメントなどの映像教材として用いたケーススタディ・セッションやゲスト講師を招いた特別講義(コーチングあキャリアなど)を実施しています。また、実際に企業を訪問してフィールドワークも行っています。

【活動時間】

レギュラーのゼミの時間に加えて、グループワークによる自習の時間もあります。

【課外活動】

Iゼミ:ゲスト講師によるスペシャルセッション(今年度は第1回としてコーチング入門セッションを実施しました)、企業フィールドリサーチ(昨年度は9月に株式会社シャルマンに訪問しました)。

IIゼミ:卒業論文合宿(実施できる環境が整えば実施します)

学部・大学院合同の懇親会(同じく実施できる環境が整えば実施します)

【卒論テーマ】

「少人数規模の中小企業における創業者のエンゲージメント向上策」

「東芝とGEにおけるアクティビストの影響と安全保障上の懸念事項」

「個人喫茶店の経営戦略とキャリア研究」

「滋賀大学体育会部活動における動機づけと部活動への適応感、主将のリーダーシップと部員の動機づけの影響」
「組織における文化としての心理的安全性の在り方」
「オーケストラ指揮者のリーダーシップ —神話の打破と実像の探求—」

【ゼミ生より】

魅力は、リーダーシップやモチベーションだけでなく、社会情勢などの様々な分野を学ぶことができる点です。小野先生はお話や議論が大好きで、ゼミはいつも賑やかです。議論の際には、1人1人の意見が尊重されるので、自分の意見が言いやすいです。また、議論をする過程では、刺激を得て、考えを深めることができます。

プレゼンテーションの準備の際には、グループ活動を行うので、自然とゼミ生同士が仲良くなれます。発表やディスカッションが多いですが、その学びが必ず実生活にも繋がるし、発表や調査のスキルが身につくので、とてもためになるゼミだと思います。

積極的に人とコミュニケーションを取ることが好きな人には最適なゼミです！

【人数】

専門演習I・II:11人

専門演習III・IV:12人

【就職(進路)状況】

昨年度は、大手メーカー、中小企業、ベンチャー、会計事務所など、多様です。共通しているのは、本人がキャリアについて真剣に向き合っており、納得して自らの意思で進路を意思決定しているところです。

【入るための目安(条件)】

組織論・組織行動論・経営管理論・経営戦略論など経営学の領域の基礎知識があつて、特にリーダーシップやモチベーションといった組織と個人の間に関心がある人。

【アピールポイント】

・プレゼンテーションだけでなく、ゲスト講師による講演会も聞くことができます！

・小野先生から豆知識をたくさん得られます！

・グループワークの時間もあるので、ゼミ生同士が仲良くなれます！

【ゼミを一言で表すと】

・切磋琢磨！

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

経営学やビジネスでのデータマイニング及びテキストマイニングの利用をアカデミック(方法論的)と実務的な面から研究を進めてきました。データマイニング及びテキストマイニングは、データサイエンスの中で重要な方法の一つです。そこから機械学習(AI)やデータサイエンスにもつながり、経営学でのアカデミックな活用法を研究の中心としています。

実務面では、日本企業でのデータ活用・分析(ビジネスデータサイエンス)の現状と課題を研究しています。

【先生より】

学生時代は幅広い読書を心掛けてほしいと思います。それが、今後の読書習慣を醸成することと卒業後生きてきます。

【連絡先】

masaki-kida@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

教科書及び参考文献の輪読及びグループでの報告を行い、その後、社会人教育で用いられているワールドカフェによるポスター作製を行います。

専門演習Iでは、データマイニングの基礎と経営戦略論(一部経営組織論)の基礎知識を習得する。

専門演習IIでは、データマイニングのビジネスでの実例を学習することを通じて、業界研究・企業研究の基礎を習得する。

専門演習IIIでは、卒論に向けて理論的レビューと対象としている業界・企業研究の選考研究をレビューする。専門演習IVでは、各自のテーマに応じて卒業論文を作成する。

時間があれば個人面談なども考えています

【活動時間】

水曜3限

【課外活動】

サブゼミなどについては必要であれば後日相談します。飲み会など課題活動は学生の自主性にお任せします。

【ゼミ生より】

喜田ゼミでは、「データマイニング」というデータサイエンスの分野に焦点を当て「経営学」について学ぶことができます。データサイエンスの視点を用いて経営学における戦略論や組織論を学ぶことができるのは当ゼミの最大の特徴であり、他の企業経営学科とのゼミと異なる点です。当ゼミでは、データサイエンスの領域を扱いますが、数学、統計学やプログラミング言語等の知識がなくても大丈夫です。

基本的な活動として、「ビジネスデータマイニング入門」という喜田先生の著書を読み、各週ごとに発表者がパワーポイントにまとめて発表をし、発表者以外もグループに別れ、要点をポスターにまとめグループワークをするという形式をとっています。これはワールドカフェ方式と呼ばれ、企業の研修に使われており、グループディスカッションの練習になります。これにより、インプットとアウトプットができ「データマイニング」への理解を深め、発表によってプレゼン力もつけることが出来ると思います。また、著者である喜田先生からの解説を得られるので、より深く内容を理解することができます。

【人数】

専門演習 I・II:男6人 女0人

専門演習 III・IV:男5人 女0人

【入るための目安(条件)】

経営組織論、経営戦略論などの基礎知識があること。できればパソコンの基礎知識、パワーポイントエクセルなどが使えること。

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

- ・多文化経営組織における人的資源管理
- ・日本企業における外国人労働力の活用

アジアの日系企業と現地の地元企業、外資系企業を対象に、人的資源管理の実態と組織で働く人々の職務満足や意識について実証研究を重ねてきました。現在は、日本企業の外国人社員の登用による人事制度の変化や、多様な人々、多様な働き方の人材マネジメントについて関心があります。

【先生より】

このゼミでは、相手や周りの立場にたって物事を捉え、その上でしっかりと持論を展開できるような人づくりをめざしています。ゼミは学生皆さんで作り上げていくものです。大学生活を通じて、自分と異なる人間との出会いを重視し、仲間となり切磋琢磨し、まじめに自分を高めたいと思っている人の入ゼミを期待しています。誰もが活躍の場を見つけて頑張れるゼミです。人生の礎を築く20代、鍛えましょう。

【連絡先】

506研究室 sawaki@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

大学のゼミ生で運営する全国国公立の他大学との日本学生経済ゼミナール主催の研究発表大会などに参加する予定です。春学期は、これらの発表大会に向けた調査研究活動を中心に行います。また、企業訪問や各研究発表大会での発表に向けて、企業研究と経営学に対する関心や学習を深めます。夏のサブゼミを含め週2～3回ゼミがあります。進路活動と並行して卒業論文の早期着手も励行しています。

【活動時間】

春学期に関しては水曜3限に行っています。サブゼミは、水曜日の課外時間に行っています。

【課外活動】

学部ゼミ、大学院ゼミ合同での企業見学、ゼミ生のOBとの交流会、学外の研究発表大会、ビジネスメッセなどの課外活動への参加を目標においた、グループワークでの研究活動を積極的に行います。

【卒論テーマ】

- ・超高齢化社会と向き合う若者のあり方-若者の投票率改善を目指して-
- ・ふるさとワーキングホリデーにより期待される地方活性化
- ・自己肯定感の高さとHSPの関連性-生きづらさを抱える人々への改善策-
- ・人工知能の社会的影響に関する研究-働き方改革にお

ける人工知能と人類の共存に焦点を当てて-

- ・日本と高度外国人材にとって魅力的な国へ-子供の教育環境改善の観点から-
- ・日本における空き家の社会課題の解決に向けた一試論-「サービス付き高齢者向け住宅」の活用」に焦点を当てて-

【ゼミ生より】

・インター大会前は忙しくなりますが、大会参加で得られる成果は非常に大きいです。ゼミ活動自体はオンとオフがしっかりしている印象があります。一人一人が主体的に動くことで他のゼミでは得られない達成感を味わうことができと思うので「ゼミ活動を頑張りたい」という人にはかなりおすすめです。(Tさん)

・ゼミで何か成し遂げたい人や主体的に取り組みたい人におすすめです。インター大会は大変ですが、今後役に立つスキルや仲間と貴重な思い出を作ることができます。

・澤木ゼミは一言で表すと「自由」なゼミです。しかしルールあつての自由なので、澤木先生は厳しくも、明るく面倒見の良い先生です。是非澤木ゼミへ！(Aさん)

・仲間という言葉を多方面から理解できるゼミです。研究を通して時に厳しく、ともに切磋琢磨し合い自分を支えてくれた仲間へ感謝しています。澤木ゼミでよかった！！(Nさん)

・何事も全力でやりたい人におすすめのゼミです！(Tさん)

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:(不開講)

専門演習Ⅲ・Ⅳ:19人

【就職(進路)状況】

メガバンク、地銀、証券、日本郵政、製造業(食品、自動車部品、電機・電子)、IT、広告、商社、小売、卸売、人材教育、JA、公務員(市役所・県庁・警察官・国税局)、電力会社、新聞社、コンサルタント、大学院進学など。キャリア転向したOB・OGも多数。先輩による進路サポートも継承されています。

【入るための目安(条件)】

澤木の授業の受講経験がある人。「嘘」が嫌いである人。希望者は要連絡、事前面談をします。

I. ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

日本型の会社制度及び日本型の新規事業育成制度を中心に日本企業の戦略展開と企業統治に関する国際比較研究をしています。また、滋賀大学に赴任してからは彦根仏壇産業や山中漆器産地など伝統産地の研究も行っています。

【先生より】

はじめまして！柴田ゼミでは経営学を特に経営者や経営管理者の視点から理解したいと考える学生を募集します。ゼミ生に求める条件は、積極的にゼミの活動に参加する意欲が高く、ゼミの仲間と団結して仲良くゼミ活動を行っていただける学生です。留学志望の学生や留学生、編入生も積極的に採用します！

後述しますが、柴田ゼミではいわゆる机上での勉強ばかりをするわけではありません。夏合宿や名古屋市立大学との合同ゼミ、飲み会、BBQ等、課外活動も積極的に行っています。新歓BBQやOB会には多くの卒業生も参加します。OBとのつながりも強く就職活動支援にも力を入れています。学生生活を充実させたい！もっとゼミ活動を充実させていきたい！体育会とゼミ活動を両立させたい！OBとも深く交流したい！と考えている学生は是非、応募して下さい。

【連絡先】

a-shibata@biwako.shiga-u.ac.jp

II. ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

「専門演習I」:日本の経営の基礎を学習します。毎回のゼミで輪読及びプレゼンを行い、理論の理解とプレゼンのスキルアップを目指します。5月にはBBQが開催されます。8月には夏合宿が行われます(就活の関係で冬になる場合もあります)。

「専門演習II」:10月・11月は文献の学習及び名古屋市立大学との合同ゼミが開催されます。12月には、柴田ゼミの4回生から履歴書の書き方、面接のスキル等就職活動の支援が行われます。

「専門演習III」:就職活動中でもゼミは開催され、卒業論文の作成が始まります。とはいえ、この時期は参加自由です。思う存分、就活に従事して下さい。

「専門演習IV」:卒業論文の完成に向けて指導が行われます。

【活動時間】

ゼミはイベント対応を除き、月曜日3・4限に実施。

【課外活動】

新歓飲み会、新歓BBQ、夏合宿、冬合宿、飲み会、名古屋市立大学との合同ゼミ、OB会等々。どれを実施するかもゼミ生と相談の上で決定する。

【卒論テーマ】

卒論テーマは経済・経営分野なら何でもOK。

【ゼミ生より】

2回生の皆さん、初めまして！！

ゼミの時間では生徒のプレゼンの理解が難しい部分を先生が補足して下さい、比較経営論を分かりやすく学べます！

課外活動では、飲み会やBBQでみんな一緒に楽しむことが出来ます！特に先生の作ってくださるピザは何よりも美味しいです！

ゼミを存分に楽しみたい方、是非お待ちしております！

【人数】

専門演習I・II:16人

専門演習III・IV:13人

【就職(進路)状況】

キーエンス、アサヒビール、ライオン、川崎重工、神戸製鋼、ダイハツ、大林組、関西電力、中京電力、JT、住友理工、富士通、沖電気工業、アシスト、サイバーエージェント、楽天、JTB、伊藤ハム、三菱食品、雪印メグミルク、味覚糖、リタケカンパニーリミテド、田辺三菱製薬、デンソー、トヨタ車体、ジェイテクト、クボタ、マキタ、日本電産シンポ、第一精工、日本精工、村田機械、大和ハウス工業、デサント、TIS、NTTデータグローバルソリューションズ、スマセイ情報システム、キャノンITソリューションズ、NEXCOシステムズ、NSD、丸石化学品、三井住友アセットマネジメント、三菱UFJ信託銀行、瑞穂銀行、りそな銀行、オリックス、商工中金、日本生命相互会社、アフラック、東京海上日動火災保険、京都銀行、滋賀銀行、関西みらい銀行、大垣共立銀行、長崎県信用保証協会、京都市役所、滋賀県庁、JA、国内外の大学院進学等々。

【入るための目安(条件)】

成績と面接による総合評価。ゼミナール大会終了後から約1週間を面接期間とします。メールにて面接を申し込む旨、本頁の【連絡先】に連絡して下さい。

一学年で原則、男子6人、女子6人を採用します。これに留学生、編入生が年度によっては加入し、ゼミの最終人数が確定します。成績やTOEICなどの学力面も重視しますが、成績のみで採用するわけではありませんので、まずは気軽に申し込んでください。

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

産業財、営業戦略・管理・行動、顧客関係性などをテーマに、マーケティング戦略の分析をしています。

なお直近では、物語を使ったマーケティングや、インターネットやソーシャルメディアを使って如何にマーケティング活動を効率的に行うか、経営・マーケティング活動にイノベーションを呼び込むためには何が必要か、などの探索を行っています。

【先生より】

専門演習(3・4回生)は単に出席して与えられた課題をこなせば良いものではありません。自分から積極的に研究できるテーマを見つけて、自主的にそれについて探索し、また関連文献を読んで、事例や調査データの分析を行うことが求められます。

何を自分の研究テーマにするか考え、自分から積極的に行動できる学生を求めています。

【連絡先】

m-seimiya@biwako.shiga-u.ac.jp (電子メール)
0749-27-1363 (研究室直通電話)

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

「輪読」、「ケース討議」、「ゼミ生自身の研究発表」の3つを中心に、ゼミ活動を進めています。

「輪読」は、ゼミ生でテキストを1冊決め、その内容を分担して担当を決め、全員で発表を回してゆきます。発表者以外のメンバーは、発表内容に対して、積極的に質問や意見を述べてもらうこととなります。

「ケース討議」では、企業の課題や問題の生じた場面を想定した事例をもとに、各ゼミ生がもしその企業の経営者や当事者であったら、どうするかについて、意見を出してもらい、討議を行います。

「ゼミ生自身の研究発表」では、ゼミの最終目標である「卒業論文」の作成に向けて、ゼミ生自身で各自の研究テーマを決め、それぞれ研究内容について発表をすることとなります。

【活動時間】

水曜日の3・4限

【課外活動】

ゼミ生の自主企画によって、懇親会やゼミ合宿などを行ってきました。また年によっては、ゼミ生個人で、学外の研究発表大会に参加し、入賞した者もいます。

【ここ数年の主な卒論テーマ】

- ・店舗空間における知覚品質と購買行動～書店と雑貨店における文房具を知覚対象として～
- ・商品評価態度形成のジェンダー間比較
- ・アンケート結果から考えるコンビニコーヒーの消費者像
- ・サブスクリプションビジネスにおける若者の購買行動
- ・旅行とマズローの欲求階層説との関連性についての調査
- ・旅行プランや宿泊施設における予約サイト選択要因
- ・国ごとの消費者心理の差異:スーパーのPOP広告、商品陳列を中心に

【ゼミ生より】

ユニバーサルスタジオジャパンの競合相手は本当に東京ディズニーリゾートだと思いますか?ラーメンを食べる文化の無かったアメリカでカップ麺をどのように売ったのでしょうか?このような身近な事例から産業財の取引まで、清宮ゼミでは様々なテーマについて討議を重ねています。マーケティングや企業経営に興味がある方はぜひ当ゼミへどうぞ。

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:14人
専門演習Ⅲ・Ⅳ:10人

【就職(進路)状況】

滋賀大学経済学部の一般的な就職状況とほぼ同じですが、メーカーなどでのマーケティングを志望するゼミ生が比較的多いといえます。

ここ数年の主な就職先は、滋賀銀行、ミツカン、JTB、京都中央信金、ニトリ、山崎製パン、日本年金機構、JFE商事、富山銀行、商工中金、イズミヤなどです。

【入るための目安(条件)】

入るための条件はありません。ただ少なくとも、経営学の科目をいずれか履修し、何を自分のテーマにしたいのか、またそれをどのように研究したいのか、具体的に示せるようにして志望してもらいたいと思います。

I. ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

提携やネットワークと競争優位との関係を中心に研究しています。学問領域でいうと、組織間関係論と経営戦略論となります。最近、研究対象をIT産業に焦点を当て、特許情報の分析という研究手法により、世界主要IT企業の戦略・優位性、提携ネットワークの全体像、ネットワークの変化などを明らかにすることに重点を置いています。

【先生より】

目指すところは、学生の主体性を重視し、学生に自らの状況や関心によって活動してもらい、学生の一人一人が自分を知ったうえで、さらに自らの可能性を再発見できる点にあります。学内外の活動を通じて、学生が経営学に関する現象や論理を探って、自ら考える姿勢や問題解決の方法を身に付けてもらえればと思います。これらの取り組みにより、ゼミ生が意欲的に合宿や学外の研究発表大会に参加し、これまで最優秀賞を受賞するなど、良い結果を残しました。ゼミ内だけでなく、先輩と後輩との関係も非常に良好で、仲間意識と学習意欲の高いゼミとして誇りを持っています。

【連絡先】

yun-chen@biwako.shiga-u.ac.jp

II. ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

・I ゼミ時の内容

I ゼミはグループ研究を中心に企業との共同研究や自由研究に1年間にわたって取り組んでいます。ここ数年共同研究は観光鉄道会社や浜縮緬会社などと連携し、自由研究は学生に自由探索または学外の研究発表大会のテーマにそって研究内容を決めていきます。これまでの自由研究のテーマは、リモートワーク、アフター/ウィズコロナなど時代に反映する経営学のテーマが挙げられます。

1年間の大きな目標として、学外の研究発表大会、年度末の共同研究成果発表会での発表を準備することです。これまで参加実績があったのは、9月開催の経営学合同ゼミ合宿(非公式、開催地は関東・関西)、10月開催の日本学生経済ゼミナール関連の研究発表大会などが挙げられます。前者の合同ゼミ合宿は毎年全国から約8校・120名ぐらいのゼミ生が集まり、後者も全国から百以上のゼミが参加する切磋琢磨の場です。毎年、研究内容により参加する研究発表会も若干異なります。

学生は研究テーマの設定、調査・考察、報告資料の作成、発表などの作業を通じて、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力、ディスカッション能力を短期間に身に付けることができます。企業との共同研究を通じて、学生の課題解決能力や実践力、提案能力も養うことが期待できます。グループ研究が一段落した後、就活指導、4回生による就活座談会などもゼミの一環として行います。

・II ゼミ時の内容

春学期のゼミでは、ゼミ内容の多様化を図り、卒業論文の執筆への準備を含め、学生にやり残したいことを自ら提案しゼミ内容を決めてもらいます(例えば、関心探索ワークショップ)。秋学期は、個人研究と卒業論文の執筆はメインなゼミ内容となります。学生は情報収集、調査、分析といった研究活動を通じて卒業論文をまとめます。最後のゼミでは卒論発表会を開催することで、2年間のゼミ活動を締めくぐります。

【活動時間】

- ・毎週水曜日 I ゼミは3限、II ゼミは4限開講。
- ・サブゼミは研究の進捗具合により学生主体で開催することがあります。サブゼミの時間や回数などは基本的に各グループ内で調整してもらいますが、特に発表会が近づく8月—10月に開催の回数が増える可能性が高いです。

【課外活動】

課外活動は基本的に学生に自主的に企画してもらう方針ですので、毎年課外活動の内容が異なります。以下はあくまでも一例です(コロナ禍前)。

- ・学習活動: 実地調査、アンケート調査、学内合同ゼミ発表会など
- ・親睦活動: 食事会、I・II ゼミ合同運動会/親睦会、バーベキュー、台湾ゼミ研修旅行など

【卒論テーマ】(一部)

- ・モバイル市場の競争力研究
- ・日本部品メーカーの持続的な競争優位性
- ・スポーツマネジメント
- ・オンラインライブの効果的運用
- ・地域創生(アニメーション、地方銀行等)
- ・推し活の研究

【ゼミ生より】

陳ゼミの魅力は2点あります。1点目は、フィールドワークを経験できることです。チームで研究を行い、企業(鉄道会社・繊維メーカー)の課題解決を目指します。とても有意義な経験ができる貴重な機会ですので、興味がある方は入ゼミすることを強く勧めます。2点目は、教授の人柄です。ユーモアがあり、そのおかげかゼミの雰囲気はとても良いです。以上が、陳ゼミの魅力です。関心がある方は、ぜひ説明会に来てください!

【人数】

I ゼミ: 男12人 女7人

II ゼミ: 男12人 女7人

【就職(進路)状況】

保険(生命・損保)、銀行(メガバンク・地銀)、電力、鉄道、ゼネコン、IT(外資系も含む)、総合商社、人材コンサルティング、医療機器、製薬、化学、精密機器、自動車、住宅、広告、小売、旅行代理店、重工業、鉄鋼、食品、、独立行政法人、公務員等

【入るための目安(条件)】

- 1.やる気があり、ゼミのメンバーと仲良くなりたい方
 - 2.合宿や共同研究、調査活動に参加できる方
 - 3.発言、討論、グループワークに抵抗感のない方
- (*このゼミは合っているかどうか事前面談をお勧めします。連絡方法はメールでお願いします。)

内藤 雄志ゼミ NAITO TAKESHI

I. ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

数理計画問題、協力ゲーム理論の配分解の性質などを研究課題としています。

【先生より】

教育方針としては質疑応答や討論を重視し、3年生は1セメスターに2回位発表を課します。4年生は、卒業論文の作成などを通じて、オリジナルの意見を論理的に記述する能力を身につけることを目標とします。卒業論文として指導可能な領域・分野は、経営科学の数理的手法、統計学などのデータ解析の手法、投資関係の数学、ゲーム理論、情報数学などです。

【連絡先】

naitoh@biwako.shiga-u.ac.jp

II. ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

専門演習は、経営数学やオペレーションズ・リサーチなどのマネジメントサイエンスに関わる分野について文献や参考書を発表箇所ごとに振り分け、輪読形式で進めていきます。

専門演習 I では、マネジメントサイエンスやそれに関わる分野を学習します。特に数学を用いるテーマが多いのですが、高校までの数学知識が備わっていれば問題なく授業に参加できると思います。また、自分でレジュメを作成することで発表する練習ができ、PowerPointを用いてプレゼンテーション能力を鍛えることができますし、練習問題を通じてマネジメントサイエンスや表計算への理解を深められます。

専門演習 II では、春学期に学んだ内容に比べ専門的な学習をします。ゼミ生各自が勉強したい分野の手法や問題(近年の例: 需要予測、施設設置の問題、独立性の検定、ポートフォリオ最適化、期待効用基準、ナッシュ均衡)を選び、輪読を行います。他のゼミ生の発表を聞いた後実際にゼミの時間で問題を解いたりして理解をしながら進めることができます。

専門演習 III・IV では、ゼミ生各自が研究テーマについての報告(発表)を行い、卒業論文を作成します。

【活動時間】

拘束時間が少ないので、バイトや部活、サークル、課外活動と並行して進めることができます。

【課外活動】

食事会など(コロナ以降自粛中)。

【卒論テーマ】

先輩の卒論テーマ例(SULMS「優秀卒業論文」から閲覧できます)。

『株価変動の推定 新型コロナウイルスとリーマン・ショックによる経済影響の比較』

『フリーライド現象の原因と対策』

『十六銀行の支店統合に伴う施設配置問題』

【ゼミ生より】

私たち内藤ゼミでは、実世界の問題を数学的手法を用いて解決するためのスキルを身につけるために、基礎的な数学や統計の知識を応用して学習します。初歩的な概念から始めて徐々に学習を進め、解決策を見つけるための思考方法を習得していきます。

授業では、先生から配布された資料の中で特定の部分をゼミ生が解説する時間や、関連する課題についてゼミ生同士でディスカッションし、解答や解決プロセスを共有する時間が設けられています。これにより、視覚的に分かりやすいパワーポイントの作成能力や、他の人に伝えやすいプレゼンテーションのスキルも自然と向上します。

また、内藤ゼミの特徴としては、論理的思考が身につくことが挙げられます。議論の中で新しい知識を獲得しやすい環境です。他にも、少人数のゼミなので、アイデアや意見の交換が活発に行われます。さらに、先生との距離が近いので、気軽に相談や質問ができ、コミュニケーションを円滑に行うことができます。

【人数】

専門演習I・II: 7人

専門演習III・IV: 1人

【就職(進路)状況】

金融業、製造業、情報通信業各10人位、公務員7人、大学院進学5人(卒業生67人の内代表的なもの)

【入るための目安(条件)】

事前に面談を受けてください。数理関係の授業(経営数学、オペレーションズ・リサーチ、統計学A・Bなど)を1科目は履修していることが望ましいです。

現実の世界の問題を数学的に分析することに興味がある人、毎回出席して他のメンバーとディスカッションをした人、などを歓迎します。

I. ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

中小企業との産学連携や、起業家はどのように生まれるのかについて研究しています。

【先生より】

「Student Innovation College (Sカレ)」という大学対抗の商品企画コンテストに、商品化を目指してチームで取り組んでもらいます。5月頃に企業から提案される課題に合わせて商品企画に取り組み、10・12月に開催される2回の全国大会でプレゼンし、優勝すれば商品化する権利を得ます。Sカレ終了後は、それぞれが興味を持つテーマについて卒業論文を作成してもらいます。

【連絡先】

研究室は研究棟423研究室です。面談はいつでも承りますが、事前にメールでご連絡していただくと非常に助かります。[Zoomによる面談も承ります。](#)

yu-yamashita@biwako.shiga-u.ac.jp

II. ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

Sカレなどによる実践を通じて、新しい商品・新しいサービスを生み出す際の考え方や進め方を学ぶことをゼミの目的としています。春学期は、プレゼンテーション・スキルの向上を行いつつ、教科書である『1からの商品企画』を輪読して新たな価値を創造する際の考え方や進め方を学びます。春学期の途中から数個のグループに分かれて活動してもらいます。新しい商品のコンセプトや価格、販売チャネル、販売促進活動などのマーケティング戦略をグループごとに地道に考えることとなります。12月に開催される全国大会で商品化する権利を勝ち取るのが目標です。

【活動時間】

月曜3限が3回生の、4限が4回生のゼミの時間になりますが、4限にもSカレの作業を行うことができるようにしています。10月の全国大会は秋学期が始まってすぐの開催ですので、夏休み期間中にも作業を進めていってもらいます。

【課外活動】

夏休み期間中にSカレに参加する他大学との共闘ゼミを実施します。12月の全国大会は対面開催となることが多いので、ゼミ旅行がある予定です。

【卒論テーマ】

4回生で卒業論文に向けての研究を行うこととなりますが、テーマの制限は何もありません。

【ゼミ生より】

山下ゼミのテーマ:商品企画に全力を注ぐ!

商品企画を基礎から学び、大学対抗の商品企画コンテスト「Sカレ」で優勝して、実際に商品化する権利を獲得するのが、山下ゼミのミッションです。

商品企画に興味はあるけど、自分にできるか不安な人でも大丈夫! **Startup Weekend**や教科書の輪読を通して、アイデアの生み出し方、プロトタイプや企画書の作成方法、プレゼンテーションのノウハウなど、商品企画に必要なスキルを習得できます。

ゼミの時間の大半は、希望したテーマごとに組んだグループで、商品企画をどのように行うのか自分たちで考えていきます。自由度が非常に高いゼミですが、そのぶん自主性・コミュニケーションスキル・協調性などが求められます。ゼミの時間は、お菓子を食べながらアイデア出しをしたり、チームで外に出掛けたり、和気藹々と楽しい雰囲気です。

商品企画に興味がある方、仲間と刺激しあいながら目標に向かって努力することが好きな方、成長することに熱意を持っている方にはピッタリのゼミです。他のゼミ生や山下先生からのフィードバックを毎週受けるため、自分を見直して足りないところをどんどん吸収することができます。ほとんどのゼミ生は商品企画の初心者ですが、商品企画に一生懸命取り組んだ経験は、ガクチカとして受けが良いとの噂もあります。山下ゼミで新たな自分を手に入れませんか?

【人数】

I ゼミ(3回生):男6 女14

II ゼミ(4回生):男5 女6

【就職(進路)状況】

製造業16名、情報通信業15名、金融業11名、卸・小売業7名、公務員5名など

【入るための目安(条件)】

起業を考えている学生や、商品企画について実践を通じて学びたい学生が主な対象だと考えています。

週末の54時間でアイデアをカタチにする起業体験イベント「Startup Weekend」に参加した経験があるか、専門演習が始まるまでに参加することを確約できることを、応募の必須条件にしています。

会計情報学科

笠井 直樹ゼミ KASAI NAOKI

『笠井直樹ゼミ』

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

社会制度の一つである財務諸表報告制度および財務諸表監査制度を担う様々なプレーヤー(例えば、財務諸表を作成・開示する経営者、それを利用する投資家、債権者、税務当局、また財務諸表の信頼性を保証する監査人等々)の行動原理や彼・彼女らの行動の結果もたらされる経済的帰結について、公開データを用いて明らかにすることが研究テーマです。

【先生より】

財務関連データなどを対象に統計的手法を用いた分析や会計不正事件のケース・スタディー等に興味のある人を歓迎します。また、特に監査論に興味があるという稀有な人を大歓迎します。

なお、個人的には香川県民(出身)、オーストラリア滞在経験あり(特にメルボルン)、バスケットボール好き、オーケストラ部員(弦楽器パート)の人にくてもらえると嬉しいです。

【連絡先】

n-kasai@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

具体的には、以下のことについて取り組んでもらいます。

- 1 毎回の課題
(経済・金融・会計関連の)新聞・雑誌の記事について、その内容を報告(5分以内)。
- 2 3年次春semester
財務会計および経営財務などについての基礎的な知識を習得するためにテキストや論文を輪読。
- 3 3年次秋semester
より発展的な内容のテキストや論文を読み進めるとともに、事例分析を行う。
- 4 4年次
卒業論文の作成。

【活動時間】

通常通り。サブゼミなどは設定していません。

【課外活動】

ゼミ生にお任せします。

【卒論テーマ】

テーマについて特に制約はありませんが、会計関連のネタを取り上げてくれると私としては非常に助かるので場合によっては感謝されるかもしれません。ただ、過去には会計とはまったく関係ないテーマで卒論を書いて卒業していったゼミ生も少なからずいます(会計以外のテーマを選択した人を冷遇することはないはずです。たぶん)。

【ゼミ生より】

笠井教授は会計関連のみならず幅広い分野の知識が豊富で、毎週の授業で本当にたくさんのお話を私たちゼミ生に聞かせてくれます。会計知識が比較的豊富な学生でも面白く感じると思います。また、現ゼミ生の中に公認会計士を目指している者もあり、同じ志望の方はいいアドバイスが聞けるかもしれません。会計方面に興味がある方はどなたでも大歓迎しています！ぜひ来てください。

【人数】

専門演習I・II:3名

専門演習III・IV:0名

【就職(進路)状況】

過去にはメーカー・商社・IT系等。

【入るための目安(条件)】

簿記会計、会计学基礎、財務会計総論I・II、財務諸表分析論I・IIを履修中 or 履修済み、あるいは、日商簿記検定2級レベルの内容を理解している方がベターです。簿記・会計の基礎がない方は難しいと思います。最低でも日商簿記検定3級レベルの内容を理解しておいてくれないとゼミでの活動に支障をきたします。

また、可能であればマイクロ経済学(初級～中級)・計量経済学(基礎)関連の科目を履修しておいてくれるとより発展的な内容に取り組めると思います。

I. ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

- ・研究分野: 会計利益計算構造の深化に関する研究
- ・概要: 米国、英国および国際会計基準審議会 (IASB) を中心として、資産負債アプローチにもとづいた収益認識や業績報告の変革について、主として財務会計概念フレームワークと関連づけながら研究しています。また、地方公営企業の会計情報と成果概念についても研究しています。

【先生より】

「会計学」に興味があり、会計を将来の進路で生かしたいと思う学生を求めています。

会計学の理論を探求するとともに、可能な限り実践的に学びながら、新たな課題を発見し、ともに考えていきたいです。好奇心にあふれ、問題意識を持って積極的に取り組む学生を求めています。

ゼミはゼミ生同士で作り出していくものです。やる気のある元気で活発な学生を待っています！

【連絡先】 kanisima@biwako.shiga-u.ac.jp

II. ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

会計学の独特な思考を軸にしなが、それをさまざまな角度から学ぶことで会計学の理解を深めていくことをねらいとしています。「世界の中の日本の会計の特徴」を浮き彫りにしたいと思っています。

春は、まずは、財務会計の基本テキスト(伊藤邦雄『新・現代会計入門』日本経済新聞出版社)を使って、基礎・中級レベルの内容を中心に個人プレゼンと質疑応答による3・4時限の「2倍ゼミ」と、ほぼ毎週のSulmsによる復習課題の反復で、短期集中型で基礎固めを行います。ここでいかに粘り強く基礎を着実に習得したかが以降のゼミでのパフォーマンスや能力向上に大きく影響します。その他、基本的な財務諸表分析方法を学んだ後に、グループワークで実践、プレゼンし、もし実施可能であれば夏季休暇中のゼミ合宿等でビジネスゲームなど実践的な学習も行う予定です。

秋は、財務会計の現代的トピックスに絡んだ応用テーマを設定し、グループ研究に取り組みます。参考までに、昨年度の研究テーマは、国際会計基準(IFRS)と日本基準の財務諸表比較、グローバル企業と為替戦略、不正会計の事例研究および会計ディスクロージャー分析でした。春同様、プレゼンスキルも磨きます。

そのほか、例年であれば、春はゼミ卒業生講演(今年度は、公認会計士(現在はトーマツ税理士法人)、メットライフ生命保険)、秋は滋賀銀行、日本経営ウィル税理士法人、三井住友海上火災保険などによる就活ガイダンス、IIゼミ生による就活・進路支援企画、「会計学論集」(卒論集、ゼミ活動記録、ゼミ名簿)の製作、卒論報告会など、諸々企画もあります。

【活動時間】

春学期は、例年、毎週金曜3・4時限の2コマ、秋学期は、時間割通り、毎週金曜3時限の1コマです。

【課外活動】

懇親会(例年では3、4回ほど)、レクリエーション(ボウリングなど)、ゼミ合宿(9月、「グリーンパーク山東」)、ゼミ旅行など。

(※なお、これらの課外活動は一昨年まではコロナ禍で実施できませんでしたが、昨年からは一部が徐々に復活しつつあります。来年度は未定です。)

【卒論テーマ】

2022年度卒業生の卒論テーマは以下のとおりです。

- 「不正会計の動向と利益調整の実証分析」
- 「統合報告書の比較研究」
- 「日本における税効果会計のあり方」
- 「わが国のタックスヘイブンへの対策」
- 「歴史的アプローチから見るわが国の会計」
- 「ESG情報の課題と展望」
- 「自発的ディスクロージャーに関する研究」
- 「のれん概念と会計処理方法の理論的・分析的考察」
- 「不正会計防止における内部統制報告制度と日本のコーポレートガバナンスの現状と課題」
- 「中小企業会計の展望」
- 「飲料業界3社の経営分析」
- 「スーパーマーケット業界の比較分析」
- 「バブル崩壊後の金融機関」
- 「減価償却会計をめぐる様々なコンフリクト」
- 「半導体確保のための経済安全保障」
- 「住宅業界の財務分析・経営戦略分析」
- 「放送業界主要グループ4社の経営分析」
- 「為替と税務に見る多国籍企業の変容」

可児島 達夫ゼミ KANISHIMA TATSUO

【ゼミ生より】

当ゼミは財務会計の理論を中心に学ぶ活気ある大人数のゼミです。毎年20人程度が入り、にぎやかな雰囲気の特徴です。会計を学び始める方も多く参加しており、皆で切磋琢磨しながら学ぶことができます。また、ゼミ生同士の交流も盛んで、楽しく充実した時間を過ごすことができます。さらに、可児島先生は優しくサポートして下さいますので、安心して学問に励むことができます。興味をお持ちの方は、ぜひ可児島ゼミを検討してください。

【人数】

Iゼミ:19(男10、女9)

IIゼミ:20(男10、女10)

【就職(進路)状況】

(1)民間企業(直近5年間)

- ・金融:三井住友信託銀行、滋賀銀行、十六銀行、大垣共立銀行、中国銀行、関西アーバン銀行、SBIホールディングス、京都中央信用金庫、日本政策金融公庫、野村アセットマネジメント、大和アセットマネジメント、大和証券、東海東京証券、岡三証券、丸三証券、三井住友海上火災保険、芙蓉総合リース、東京センチュリー、オリエンコーポレーション、トヨタファイナンス、日産フィナンシャルサービス、JAバンク大阪、東日本建設業保証など。
- ・製造、サービスほか:ローム、ネスレ日本、神戸製鋼所、島津製作所、シャープ、GSユアサ、三菱マテリアル、豊田合成、日本電気硝子、古野電気、五洋建設、トクヤマ、オプテックス、湖北工業、積水ハウス、タマホーム、富士通、オービック、日本デジタル研究所、ミロク情報サービス、JSOL、ディップ、エン・ジャパン、日本経営ウイール税理士法人、京都税理士法人江後経営グループなど。

(2)公認会計士・税理士・公務員・大学院進学(ゼミ通算21年間)

- ・公認会計士13名:監査法人(新日本、あずさ、トーマツ、太陽ASG、仰星、ひびき)、トーマツ税理士法人、ズズキなど。
- ・税理士7名:税理士法人、会計事務所など。
- ・公務員42名:会計検査院、国税局(東京、大阪、名古屋、金沢)、財務省東海財務局、経産省中部経済産業局、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、防衛省、税関(大阪、名古屋)、国立病院機構、宇宙航空研究開発機構、府県庁(大阪、滋賀、愛知、岐阜など)、市役所(京都、名古屋、彦根、豊川など)、大阪大学、高校(商業科)教諭など。
- ・進学9名:滋賀大学大学院、神戸大学大学院など

【入るための目安(条件)】

- ・簿記会計単位取得済み(日商3級以上合格)
- ・できれば、会計学基礎、財務会計総論 I・II、社会と会計のいずれか履修経験あり
- ・会計学に興味がある人

野田 昭宏ゼミ NODA Akihiro

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野の概要】

会計情報の測定・報告に関して観察される面白い現象の背景にあるメカニズムを説明するモデル分析(分析的会計研究)に携わっています。現在、3つのテーマに取り組んでいます。

- (1) 不均質な選好をもつ投資者層から構成される証券市場で、企業はどのような会計報告戦略をとるだろう；
- (2) 報告利益の質が低い会社が開示する非財務情報の質が高いのはなぜだろう；
- (3) 企業のガバナンス構造は、経営者の利益マネジメントにどのような影響を与えるだろう。

II.ゼミのプロフィール

【先生より】

私たちの研究室は、会計情報にかかわる現象の背後にあるメカニズムを理解することに焦点を当てています。現実に観察される会計制度や実務は、

- ・どのような条件下で生じたのだろうか？
- ・組織や社会にどのような影響を与えているか？
- ・条件が変化するとどのように変化するだろう？

という問いを出発点にしています。

会計現象の背景にある基礎的なメカニズムを理解することは、会計学習者の短期目標(資格を取得したい／会計知識を生かして就職活動を有利にしたい等)に必ずしも直結しているとはいえません。しかし、長期的な視点から見ると、卒業後の長いキャリアのなかで容易には陳腐化しない会計現象に対する本質的な見方を培うことができるという価値をもちます。

この点で、私たちの研究室は、資格取得や就職目的にもとづいた会計学習ではなく、卒業研究を通じて会計現象の本質的な問題に取り組んでみたいというひとに向いています。

【ゼミの内容】

ゼミでは会計現象に関して仮説を設定し、それを検証するタイプの研究をします。3回生春学期(演習Ⅰ)は、卒業研究に着手する準備として、会計学研究に関連したリサーチデザインを学びます。会計に関わる経済現象をめぐって提示されている仮説と、それらを検証するために用いられた手法、明らかにされてきた知見を学習することを目的とします。

各セッションでは、事前課題として、ゼミ生に文献資料とディスカッション・ポイント、データ分析実習の課題が提示されます。文献資料を学習したうえで、セッションで、ディスカッション・ポイントを中心に検討します。

3回生秋学期(演習Ⅱ)は、関心のあるテーマ別に研究チームにわかれてそれぞれ卒業研究の準備を始めます。各研究チームの4回生リーダーのサポートを受けながら、研究テーマに関連する文献サーベイを行い、リサーチデザインを設計します。年度末には、取り組む研究課題を決めて、その調査手法や研究の着眼点等を明確にした研究計画書を作成します。

4回生の春学期から夏季休業にかけては、上記の研究計画書にもとづいて、データ収集とその予備的考察、関連文献の追加的なレビューを実施します。夏季休業終了時には、3回生・4回生合同ゼミで、中間報告会を開催します。秋学期には、データ分析と卒業論文の執筆・完成を目指します。また、自分の研究チームに新しく加わった3回生の研究をサポートします。秋学期終了時には、卒論発表会で最終報告をするとともに、卒業論文集を作成します。

【活動時間と課外活動】

3回生：金曜3限／4回生：金曜4限

【課外活動】

(希望があれば)統計的手法に関するサブゼミを開催します。配属時点で統計関連科目が未履修である／基本的知識に不安があるひとに対してサポートをします。

【卒論テーマ】

- ・会計利益と課税所得の差異は価値関連性をもつか。
- ・四半期報告書開示に対して市場はどのように反応するだろうか。
- ・国際財務報告基準を適用する企業と日本基準を適用している企業の間で会計情報の価値関連性に差異はあるだろうか。
- ・企業の租税回避行動に対して企業ガバナンス構造は影響を与えているだろうか。

【人数】

3回生6名(男子3名・女子3名)／4回生2名(男子1名・女子1名)

【就職(進路)状況】

主な就職先：公認会計士試験合格(4回生現役) → 太陽有限責任監査法人、東海銀行、北陸銀行、明治安田生命、税理士事務所

宮西 賢次ゼミ MIYANISHI KENJI

I.ゼミの先生のプロフィール

【現在の研究課題】

ESG 情報の効果測定、不正会計検出モデルの研究

【研究活動】

フルブライトプログラムで留学した米国ケロッグビジネススクール博士課程での経験を活かし、実証的・分析的会計研究に取り組んでいます。PwC あらた監査法人とデータサイエンスの共同研究にも取り組んでいます。

【教育方針】

生涯の財産となるファンダメンタルを鍛える！

II.ゼミのプロフィール

【先生より】

ゼミでは、分析的会計学（財務諸表分析&企業価値評価）を徹底して学びます。実践での問題解決を重視し、アメリカのビジネススクールでのトレーニングを取り入れて、ファイナンスや統計を応用した分析を行います。将来国際的なフィールドで活躍するために必要な、会計とファイナンスの専門性、分析力、討論力、チームでの問題解決力、仕事で使える英語力などのファンダメンタルを鍛えます。ファイナンスと会計分野のデータサイエンスの分析手法もマスターします。

【ゼミの内容】 研究テーマ：

「財務諸表分析に基づく企業価値評価」

1. 財務経理の専門性

「企業分析入門」と「コーポレート・ファイナンス戦略と応用」をテキストとして、プレゼンテーションとディスカッションで鍛える。

2. 英語力

TOEFL や専門の英語力を鍛え、海外経験を積む。

3. データサイエンス&分析力

多変量解析、機械学習、AI 手法について集中的に学ぶ。

【課外活動】

ゼミ生が企画を行い、例年いくつかの課外活動を実施しています。

- ① 「ファイナンスの勉強（夏の耐久ゼミ）」や「ハーバードビジネスレビューを読む英語文献のサブゼミ」
- ② 「ゼミキャンプ（夏）」や「新ゼミ生歓迎会」
- ③ データサイエンス集中セミナーで財務データの分析力を鍛えています。
- ④ 「OB 会」、「卒業祝賀会」
- ⑤ 「OB による就職セミナー」

【ゼミ生より】 宮ゼミの魅力&特徴

- ・実践に応用できる財務経理の専門性を鍛えられる
- ・TOEFL や経済英語の力を伸ばす
- ・R や Python によるデータサイエンス手法に精通
- ・徹底討論、問題解決志向の本質追求ゼミ
- ・チームパワーを爆発させる
- ・『The Family』先輩後輩を超えた仲間達
- ・五大陸制覇！世界に進撃する OB 達
- ・最強グローバルゼミ！海外滞在経験者多数

宮ゼミニュース！

今年度の海外留学&海外インターンシップ

アメリカ・ニューヨーク、カナダ
マルタ、インド、インドネシア タイ
マレーシア、カンボジア、ベトナム
東ティモール
タンザニア、ケニア、ルワンダ、セネガル

シンガポールでWEB3の起業

トビタテ留学 JAPAN 選抜

【人数】 Iゼミ：男 16人 女 5人
IIゼミ：男 14人 女 4人

【入るための条件】

ゼミナール大会のゼミブースで説明を聞くこと。

宮西 賢次ゼミ MIYANISHI KENJI

【ゼミを一言で表すと】

We are No.1

【3つのアピールポイント】

1. 最強の教授や OB、そして仲間との出会い
2. グローバルな問題意識
3. Innovation Mind!!

【過去の就職（進路）状況】

2023 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

三菱商事、伊藤忠商事(2名)、三井物産、住友商事日本郵船(2名)、商船三井、川崎汽船トヨタ自動車(2名)、本田技研(4名)味の素(2名)、サントリー日本 M&A センター(2名)、NTT データ(2名)住友不動産、NTT 都市開発、三菱重工(5名)ENEOS(3名)、日揮(3名)、千代田化工(4名)三菱ケミカル、AGC(2名)、花王
NTT ドコモ(6名)、KDDI、東京エレクトロンヤマハ発動機、村田製作所(2名)ファーストリテイリング十六銀行、大垣共立銀行

2022 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

Societe General、伊藤忠商事、住友商事、丸紅、豊田通商電通、みずほ証券（投資銀行部門）、日揮(2名)千代田化工(3名)、日本 M&A センターストライク、サントリー(2名)、三菱ケミカル東急不動産、AGC、SONY (2名)、東レ住友化学、三井化学、川崎汽船、三菱重工(2名)本田技研工業(3名)、中部電力、花王デンソー(2名)、住友電工、小松製作所(3名)クボタ、日立製作所(2名)、ソフトバンクオービック、村田製作所(2名)

2021 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

Amazon、JAXA（宇宙航空研究開発機構）ネスレジャパン、ユニリーバビューレット・パッカード、丸紅、トヨタ自動車日本経済新聞社、SONY (3名)、本田技研工業(2名)三菱重工、NTT ドコモ、NTT データ、デンソー(2名)、大成建設清水建設、キャノン、住友電工(2名)、三菱電機

2020 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

Amazon、JAXA（宇宙航空研究開発機構）、三菱商事、伊藤忠商事、丸紅 (2名)、双日日本郵船、NHK（日本放送協会）トヨタ自動車(2名)、日本 M&A センター、任天堂本田技研工業、日清製粉グループ本社、花王(2名)三菱重工、キーエンス、旭化成、NTT ドコモ、JOGMEC（石油天然ガス機構）、三菱ガス化学小松製作所、サイバーエージェント住友電工 (2名)、日立製作所 (3名)、パナソニック(4名)、三菱電機 (3名)、クボタヤマハ発動機、TOTO

2019 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

三井物産、丸紅 (3名)、住友商事豊田通商 (2名)、商船三井 INPEX(国際石油開発帝石)、資生堂、AGC 日揮 (2名)、本田技研工業 (3名)、NTT ドコモ、NTT データ (2名)、花王、三菱ケミカル住友化学、SONY、キャノン、住友電工(3名)日立製作所、パナソニック (3名)、三菱電機デサント、コーセイ、東京エレクトロン

2018 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

ゴールドマン・サックス証券、デロイト三菱商事 (2名)、伊藤忠商事、住友商事商船三井、日揮、千代田化工建設 (2名)サントリー、日産自動車、本田技研工業清水建設、パナソニック (3名)、日立製作所住友電工 (2名)、三菱電機、小松製作所ミツカン

2017 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

デロイト、アクセンチュア伊藤忠商事、住友商事 (3名)、双日 (2名) JICA（国際協力機構）、日本経済新聞社、NRI(野村総合研究所)、日産自動車アシックス、サントリー、NTT ドコモ千代田化工建設、NTT データ、住友電工 (4名)日立製作所、パナソニック (3名)富士ゼロックス、神戸製鋼、日清食品、クボタ東京エレクトロン、エステー化学

宮西 賢次ゼミ MIYANISHI KENJI

2016 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

ゴールドマン・サックス証券、Ernst & Young
三菱商事（2名）、三井物産、伊藤忠商事住友
商事、双日、AGC（旭硝子）NRI（野村総合研
究所）、日本経済新聞社、NHK（日本放送協会
）、デンソー住友電気工業（2名）、関西電力
、太平洋セメント日立製作所、ブリヂストン、
日清食品、アシックス、コニカ・ミノルタ、
ヤマハ発動機野村證券

2015 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

ゴールドマン・サックス証券（投資銀行部門）伊
藤忠商事、住友商事、国際石油開発帝石、日揮本
田技研工業（2名）、住友電工（3名）日立製作所
、ブリヂストン、日清食品
アシックス、コニカ・ミノルタ、ヤマハ発動機野
村證券

2014 年度Ⅱゼミ生の主な内定先

伊藤忠商事、住友商事、サントリー、日本郵船商
船三井、住友電工、デンソー、パナソニッククボ
タ、コニカ・ミノルタ、千代田化工建設関西電力
、本田技研工業、東京海上日動

2013 年度Ⅱゼミ生の主な就職先

三井不動産、伊藤忠商事、双日、東芝本田技研工
業、住友電工、三井化学、日清食品ヤマハ発動機
、三菱東京UFJ銀行、みずほFG日本電気硝子
、JG Summit

2012 年度Ⅱゼミ生の主な就職先

伊藤忠商事、丸紅、住友電工、アイシン精機
デンソー、東芝、NTTデータ

2011 年度Ⅱゼミ生の主な就職先

電通、味の素、本田技研工業、住友電工日立製作所、
東京海上日動、豊田紡織、クボタ住友重機械工業、D
I C、など

社会システム学科

出原 健一ゼミ IDEHARA KENICHI

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

専門は認知言語学という分野で、人間の心の働きと言語との関連性について研究しています。最近ではマンガ研究(学問分野として存在しています)を参照し、マンガの構造を通じて、これまで見過ごされていた言語構造についてあれこれ考えています。2021年に出版した『マンガ学からの言語研究』という本が図書館にありますので、気になる方は覗いてみてください。

【先生より】

このゼミでは「ことば」にまつわる諸現象を題材として、批判的思考力や分析力・発信力などを向上させることを目的としています。ネットなどで無責任な言説が多くなってきている現在において、上記の能力の重要性はますます高まっていると思います。

なお、英語科目担当教員のゼミは隔年で開講しているため一つ上・一つ下の先輩・後輩はいませんが、同じ言語学を扱う野瀬昌彦先生のゼミと交流は行っています。

【連絡先】

原則水曜日以外は大抵研究室(618)にいますので、何か質問があれば気軽に訪ねてきてください。メールももちろん歓迎です。

(idehara@biwako.shiga-u.ac.jp)

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

春学期は、あずまきよひこの『よつばと!』の原作と英語版を比較することで、日常で用いられる英語表現を学びながら、英語と日本語の発想・表現方法の違いなどについて考察します。また、マンガに関する学術的研究などを参照し、様々な文化的現象と言語構造との類似点・相違点についても考えます。

秋学期はゼミ生の関心に合わせたテーマを中心に関連文献を輪読します。昨年は夏目房之介『マンガはなぜ面白いのか』を読みました。

また春・秋を問わず、グループディスカッションを通じて、議論の練習や批判的思考力の養成も行います。

【活動時間】

基本的には授業時間ですが、年に1・2回、授業時間外で野瀬ゼミと合同ゼミを行うかもしれません。内容は(新)4回生の卒論進捗報告会などです。

【課外活動】

半期に1度程度、懇親会を行いたいと考えています。また、良い企画が見つければ、京都国際マンガミュージアムなどの施設の見学を行うかもしれません。いずれも「課外活動」ですので、自由参加です(不参加でも成績評価に影響はありません)。

【卒論テーマ】

これまでの卒論タイトルをいくつか挙げておきます。
「ゲームに登場する魔法の名前についての作品横断的分析」
「女兒向けアニメとオープニング主題歌 —恋と愛のメタファーと女性にまつわる社会の変化から考える—」
「英語における交渉 —ポライトネス理論による分析—」
「英語映画の日本語字幕に見られるpolitenessがキャラクターの設定と人物関係に与える影響」

【ゼミ生より】

・ゼミではマンガを日英比較して、マンガにおけるオノマトペ、視点や感情に関する理論など色々学ぶことができる。マンガに興味ある人はお薦めです！
・卒論テーマは比較的自由に設定でき、自分のやり方で研究を進めることができます！アニメや漫画が好きなら、出原先生は理解がある方ですので、楽しくお話ができてオススメです！
・マンガで日英比較を行って、文化の違いなどを学ぶことができます。
・出原先生は、卒論テーマもできるだけ本人の希望に沿ったモノにするために、一緒に考えてくれる優しい方です。
・出原先生はマンガ研究もされているので、言語学だけでなく、マンガについても学ぶことができます。
・ガッツリ研究というよりは、自分たちのペースで楽しく学ぶことができるゼミです。
・先生が穏やかで、発表する時や聞きたいことがある時などに発言しやすいゼミだと思います
・自分の好きな漫画などを題材に卒業論文を書くことができます。言語学に興味がある人、好きな作品を研究してみたい人におすすめです！
・出原ゼミではゼミ生で話し合っってゼミ中に扱うテーマや本を決められるので、比較的自由に楽しく学べます。

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:隔年開講のため0人

専門演習Ⅲ・Ⅳ:9人

【就職(進路)状況】

ゼミの内容のせいか、特に職種の偏りはなく様々な分野の企業に就職しています。理由は分かりませんが、近年、公務員になる人も多いです。

【入るための目安(条件)】

特にありませんが、万一希望者多数の場合、「人文学類型」「取得単位数」「『言語学』『異文化間コミュニケーション』履修済」「ことば研究への関心度」などが選考基準になります。

竹村 幸祐ゼミ TAKEMURA KOSUKE

I. ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

専門は社会心理学です。主に人間の「集まり」に関心があります。人間は、グループ、コミュニティ、社会といった様々な形で集まり、協力し合い、同時に、互いの自由を奪い合います。また人間の集合は、個々人とはまるで違った動きを見せることもあります。そうした現象に関心があり、各種データを収集・分析しています。主な研究手法は実験・アンケート調査・公開データの分析です。過去の論文などはこちらです：

<https://shorturl.at/swBM1>



【先生より】

「自分の頭で考える」人を歓迎します。刺激をくれるからです。自ら考える人がゼミに来て、研究を盛り上げてくれると嬉しいです。また、「考える」ことほど大事ではありませんが、「話す」ことにも積極的だと、なおやりやすいです。ディスカッションで研究を進めることが多いからです(ただし、話すことが苦手な場合、相談に応じます)。

【連絡先】

kosuke-takemura@biwako.shiga-u.ac.jp

II. ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

社会心理学関連の卒業論文研究を進めています。ゼミで最初に取り組むのは「先行研究を知る」ことです。社会心理学の文献(英語を含む)を読みます。その後、「自分の研究をする」ことにシフトします。ここでは、未知の新事実(少しずつ)迫ることを目指します。実験・アンケート・公開データ分析などを行います。いずれの場合も、原則として、データの統計解析を使った実証研究になります。なお、竹村が進めている研究プロジェクト(国際的な専門誌での発表を目指したプロジェクト)に参加してもらうことも可能です。

【活動時間】

時間割通り

【課外活動】

予定なし。ただし、プロジェクトに参加して卒論に取り組む場合、ゼミ時間外にもこまめに(ただし柔軟に調整しながら)ミーティングして研究を進めます。

【卒論テーマ】

卒論題目一覧: <https://bit.ly/3yvEGYQ>

卒論題目(2018~2022年度の一部):

- 関係流動性が宗教観へ与える影響について: 世界価値観調査データによる検討
- SNSのコメント欄における炎上の抑止可能性
- マスクの着用が印象に与える影響: マルチレベル構造方程式モデリングによる検討
- 責任の大小が認知的不協和に与える影響



【ゼミ生より】

竹村ゼミでは、社会心理学について勉強しており、竹村先生が開講されている社会心理学 I や社会心理学 II で学んだ知識を深めることができます。学んだ知識を活かして、より細分化した自分自身の興味ある分野を"自由度を持って"研究できるところが竹村ゼミの一つの魅力です。

統計を用いた分析や英論文に挑戦しますが、竹村先生はとても丁寧に優しく指導して下さるため、統計や英語に苦手意識のある方も心配ありません。どんな質問や相談にも真摯に向き合ってくれるとても頼もしい先生です。

ゼミの雰囲気は穏やかで、発言しやすい環境であるため、のびのびと学ぶことができます。

少しでも社会心理学に興味のある方は、ぜひ竹村ゼミに来てください!

【人数】

専門演習 I・II: 10人

専門演習 III・IV: 10人

【就職(進路)状況】

日本アイ・ビー・エム(株)、株式会社ニトリ、丸紅株式会社、東京都中野区役所、滋賀銀行、京セラコミュニケーションシステム、キーエンス、茨城県信用組合、預金保険機構、富士ゼロックス、日立製作所、神戸製鋼所、JR西日本、丸真、CONTEC、LIFULL、日本製粉、防衛省、高知労働局、兵庫県三木市役所、水資源機構、丸全昭和運輸、青山財産ネットワークス、など

【入るための目安(条件)】

- ✓ 竹村に反論してくれる人を歓迎
- ✓ 自分の頭で考える(or考えたい)人を歓迎
- ✓ 英語を読むことに抵抗がないことが望ましい
- ✓ 統計分析に抵抗がないことが望ましい

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

通信における誤り制御に関する研究をしています。データの送受信に使用される通信路には様々な要因の雑音が混入し、誤りを発生させます。そのような誤りが起こったとしても、元のデータを正しく伝達できるようにする仕組みが誤り訂正符号と呼ばれるものです。私は誤り訂正符号の性能を理論的に評価する方法や、規模の大きな符号の重み分布等の特性を調べる研究をしています。ゼミは研究とは関係なく、論理的な思考力を養うための学びの場という位置づけです。

【先生より】

滋賀大学経済学部には情報管理学科という情報科学分野を広く学べる学科がありました。DS学部設立に伴う学科再編によって情報管理学科は無くなりましたが、いわゆる文系学部であってもプログラミングをはじめとする論理的思考を養う演習は重要であると私は考えていますし、またそのようなことに興味を持つ人が必ずいると思っています。私のゼミでは「じっくり考える力」と、考えた内容を「きちんと伝える力」を伸ばすことを目的としています。多くの学生は例えば一つの問題を一週間悩んで考えるという経験をほとんどしていません。また、自分の考えを口頭あるいは文章でわかりやすく伝えるために必要な論理的な構成力も不足しています。これらの能力は、どのような分野に進むにしても必要になるものです。在学中には是非これらの能力を伸ばすための努力をして欲しいと思っています。

【連絡先】

ktomita@biwako.shiga-u.ac.jp
研究室 519

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

プログラミングを学ぶことは「じっくり考える力」とコンピュータに対して「きちんと伝える力」を伸ばすこととなります。ゼミでは、プログラミングに必要なアルゴリズムとデータ構造などを学び、実際にたくさんのプログラムを組むということを通して、「考える」→「思いつく」→「試してみる」→「失敗する」というサイクルを何度も体験し、それらの後に「うまく動いた！」という喜びを実感してもらえればと思っています。また、少し規模の大きいプログラムをグループで作成する演習では、お互いの考えをきちんと伝え合うことが必要となり、円滑な共同作業を行う力を養います。ゼミの時間は必ず全員が発言の機会を持ち、活発な議論(と笑い)のある充実した場を目指します。

【活動時間】

水曜日3限(3回生)・4限(4回生)

【課外活動】

2019年度までは年度によりますが親睦会やゼミ旅行が行われています。その年度のノリによります。

【卒論テーマ】

テーマは自由としていますので多様です。多様すぎて統一感はありませんが、それが多様です。「地方行政がインターネットマーケティングを用いて観光客を増やす方法」、「世界の環境とそれによる各国の資源対策の比較」、「プログラミング教育におけるスクリプト言語の可能性」、「ゆるキャラと自治体」、等々。

【ゼミ生より】

私たちのゼミでは、プログラミングや論理クイズを通じて、論理的思考力を養います。プログラミングは基礎から教わるため、経験者、未経験者問わず、着実に成長していくことができます。

おすすめポイント

- ・毎週違うメンバーとグループワークができる
- ・部活やアルバイトと両立ができる
- ・先生が優しくフレンドリー
- ・これ以上ない頭の体操になる

【人数】

- Iゼミ:男7人 女8人
- IIゼミ:男6人 女6人

【就職(進路)状況】

ぐるなび、三菱東京UFJ銀行、滋賀銀行、京都銀行、日本システムディベロップメント、オービック、滋賀県警、神戸税関、浜学園、等多様。

【入るための目安(条件)】

コンピュータに強いということはありません。考えることが好きな人、論理学や情報科学Iが面白いと思えた人は大歓迎です。ただしキチンと出席できる人に限ります。不明な点は遠慮なく質問してください。

西村 正秀ゼミ NISHIMURA SEISHU

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

研究分野は哲学で、知覚の哲学、心の哲学、認識論、近世哲学史(J. ロックなど)を中心に研究をしています。現在は、(1)信念の本性の検討、(2)因果関係の知覚可能性の検討などに取り組んでいます。

【先生より】

哲学とは、世界や人間の在り方について私たちが考えている事柄をできる限り明確にする作業です。哲学は応用範囲が広く、例えば他の学問分野の原理を掘り下げたり、社会や文化における様々な事柄を検討したりすることにも使えます。本ゼミは、デカルトやカントといった哲学者の思想を学びたい人や、認識論や倫理学など哲学固有の問題に関心がある人はもちろん、哲学的な思考法や分析法を身につけたいという人も歓迎します。

【連絡先】

snishimu@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

○三回生

三回生は哲学の基礎トレーニングを行います。哲学研究の基礎は、他者の意見を正確に理解し、その上で批判的に考える能力です。春学期は、様々な哲学の問いを全員でディスカッションすることで、自分の意見を述べる力を養います。また、基礎文献の読解や哲学論文の書き方の訓練も行います。秋学期は、ゼミ生の意見も聞きながらさらにトピックを絞り、文献の読解を行います。また、各自の関心に基づき、個人発表もしてもらいます。

○四回生

四回生は、春学期・秋学期ともに、卒論の制作に向けて、各人の発表を中心にゼミを行います。春学期の初めに研究計画を立てて研究を進め、途中経過を随時発表してもらいます。

【活動時間】

ゼミI~IVについては、各週一コマです。ゼミ以外の学習活動としては、読書会を開くことがあります(参加は任意)。過去には、言語哲学やフェミニズムの読書会を開きました。また、哲学系の大学院進学希望の人には個別指導を行うことがあります(参加は任意)。

【課外活動】

課外活動については、ゼミ生のみなさんと相談しながら決めています。ただし、課外活動はコロナなど社会状況によって制約を受ける点にご留意ください。

【卒論テーマ】

- ・ハンナ・アーレントにおける「思考」概念の倫理的可能性
- ・「エモい」とは何か
- ・エヴァンスの指示理論について
- ・ジョルジュ・バタイユのエロティシズム論の構成基盤におけるプラトンのエロス論の内包
- ・悪質な差別の定義について
- ・グライス語用論における合理性について
- ・その他、動物倫理、生命倫理、自殺、人生の意味、AIの哲学、教育哲学など多様なテーマがあります。

【ゼミ生より】

西村ゼミではディスカッション形式を通じて哲学への関心を深め、関心を持った分野の文献を読み、深掘りしていくといった流れで行っていきます。ディスカッションの具体的な議題として、「親ガチャで人生の結果がきまるのか」[時間は「過去、現在、未来」という流れで存在しているのか]「誰もいない森の中で木は音を立てて倒れるだろうか」など、様々な議論をしました。「哲学って難しそう」というファーストインプレッションは捨てて大丈夫です。哲学を履修していなかった方でも大丈夫です。西村先生がわからないことを笑顔で丁寧に教えて下さります。

考えてみたいこと、考えてはいるけど頭の中にあるだけの問いはありませんか？皆さんが抱えている問いに向き合い、考え、自分なりの答えを出してみましょう。哲学と一緒にできることを楽しみにしております。

【人数】(現在休学中の人を除く)

Iゼミ・IIゼミ:合計8人

IIIゼミ・IVゼミ:合計3人

【就職(進路)状況】

・大学院進学、他大学に学士入学、日立製作所、西濃運輸、金融関係、専門学校進学、自営業、公務員など様々です。

【入るための目安(条件)】

コア科目の論理学は履修しておいてもらえるとありがたいです(必須というわけではありませんが)。あと、ゼミで適宜外国語文献(特に英語文献)を使用する予定なので、その点は留意して下さい。不安な人や質問がある人は、事前相談に来て下さい。

能登 真規子ゼミ NOTO MAKIKO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

民法。人に責任を課す法的根拠と家族的連帯に関心を持っています。フランス法を比較対象とし、債務保証、身元保証から展開して、現在は扶養義務を見ています。

【先生より】

法主体としての人や法人、客体としての財産や権利、契約、民事責任、婚姻、親子、相続…。民法は、人が社会で生きていくうえでの基盤的制度です。何か興味の持てる問題があると思いますので、ゼミ生の皆さんには、各自の問題意識を大事にして、考察を深めていただきたいです。

(1)個々の法律、制度・条文の知識を身につけたうえで、(2)それらが個別具体的な事件において、どのように使われているかを理解していきます。さらに、(3)現代社会のさまざまな問題の解決に向けて文献調査を行い、複数の視角からの分析をふまえて、自らの意見を持てるようになることが理想です。

【連絡先】

noto@biwako.shiga-u.ac.jp (616研究室)

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

専門演習Ⅰでは、民法の教科書等を用いて、基礎的な法理論・法知識の確認・習得を図ります。

専門演習Ⅱでは、各自の研究課題に取りかかります。それぞれの問題関心に沿って大きくテーマを設定し、それに関連する判例研究を行います。報告者は、各自選んできた判例・裁判例につき、事実の概要や判決の要旨をまとめ、過去の類似事件の判例・裁判例や学説の議論を調べて考察し、報告します。

専門演習Ⅲが始まる頃、卒業論文のテーマを再度検討します。就職活動等の目途がついたら論文執筆に取りかかります(Ⅲは専門演習Ⅰと合同開催です)。

専門演習Ⅳでは、卒業論文を仕上げていき、1月には専門演習Ⅱと合同で発表会を行います。

【活動時間】

水曜日3・4限(合同ゼミをする時期があります)

【課外活動】

年度ごとの自主企画(ゼミ生におまかせ)

【卒論テーマ】

「所有者不明土地問題の課題と解決策」
「患者の自己決定権とインフォームド・コンセント」
「自動運転における事故の責任と法的課題」
「電子商取引における消費者保護」等々

【ゼミ生より】

このゼミは、法律のなかでも特に民法について学ぶゼミです。演習では各回の担当者が事例の内容をまとめて発表し、その事例に対しゼミ生みんなで議論します。さらに、先生が興味深い事例を挙げながらお話して下さるため、より一層理解を深めることができます。また、発表の準備等で時間外に集まることはないため、柔軟に時間を使いながら活動することができます。

民法にまつわる問題は身近に存在するため、日常生活でも役に立つ力が身に付くと思います。

民法に関心のある方は、ぜひ、覗いてみてください。

▶アピールポイント

- ・落ち着いた雰囲気がある！
- ・役立つ知識を得ることができる！
- ・考える力が身につく！
- ・自分の時間をもちやすい！

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ：9人

専門演習Ⅲ・Ⅳ：6人

【就職(進路)状況】

国家一般(金融庁、総務省、国土交通省、東京税関、出入国在留管理庁)、国税専門官(名古屋・広島)、府県(京都・愛知・滋賀)、市町(豊橋・大垣・豊田・大津・久御山)、国立大学、自衛隊(海上・陸上)、年金機構、金融、保険、不動産、建設・建築、製造(食品、金属、機械)、電気、情報通信、小売、社会福祉、行政書士、社会保険労務士、法律事務所等。

【入るための目安(条件)】

ある程度、法律科目の学習・学修が進んだ方々をゼミ生として想定しています。

選考ごとに専門演習の申請書の提出より先に、以下の(1)～(6)の内容を記載したメールを能登まで送信してください。面談の日時等をお知らせします。

- (1) 氏名
- (2) 学籍番号
- (3) 法律科目の履修状況
- (4) 志望理由
- (5) 卒業後の進路志望
- (6) 自己アピール

坂野 鉄也ゼミ BANNO, TETSUYA

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

大きな括りで言えば、非ヨーロッパ世界におけるヨーロッパ近代の受容研究になります。具体的なフィールドはメキシコ、パラグアイと日本で、テーマはヒトの移動、高等(実業)教育、植民地社会論です。

【先生より】

自分で考え、考えたことをアウトプットすることができるようになる、という学士としての最低限の力をつけることがゼミでの課題です。卒論のテーマは個々の関心に沿って決められていて、特に共通のテーマを設定していません。

【連絡先】

t-banno@biwako.shiga-u.ac.jp

[Discord Server]

<https://discord.gg/RXEBu2R>

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

2年間のスケジュールです。

〈3回生〉

[春学期前]ゼミ遠足

[春学期]ヨーロッパ近代を知るというテーマで輪読をおこないます。

[夏期休業]ゼミ旅行

[秋学期]卒論テーマの設定を目的に各自で、論文紹介をおこないます。

年度終了までに卒論テーマを決定してもらいます。

〈4回生〉

[春学期]卒論テーマに関わる文献探索を各自でおこなう卒論テーマを絞り込み、論文の書き方を学びます。

[秋学期]卒論の進捗報告をおこないます。

【活動時間】

開講曜日・時限:月曜日3限(3回生)、4限(4回生)

【課外活動】

【ゼミの内容】に記載のとおり、遠足と旅行を実施しています。目的地はゼミ生プレゼンで決めています。理由はわかりませんが、ゼミ旅行は「瀬戸内の島」(周防大島、淡路島、大久野島)になっています。特に縛りがあるわけではありません。

【卒論テーマ】

歴史的研究が多い傾向にありますが、現代の諸問題を扱うものもあります。対象地域は日本、メキシコ、アフリカなど様々で、テーマも教育制度、多文化主義、労働問題、ジェンダー格差問題などいろいろあります。

【ゼミ生より】

少人数のゼミであることもあり、自分のペースに合わせて学びを深めることが出来ます。卒論のテーマなども自由に決められるので自分の学びたいことが決まっている人は有意義な時間を過ごせます。

【人数】

Iゼミ:男1 女1

IIゼミ:男- 女1

【就職(進路)状況】

金融業、製造業、公務、情報産業で近年は情報系が増えています。

【入るための目安(条件)】

特にありませんが、じっくり考えることが苦手でないことは必要かもしれません。

福浦 厚子ゼミ FUKUURA ATSUKO

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

文化人類学

ジェンダー/宗教/東南アジア

宗教と社会との関係を文化人類学の枠組みやジェンダーの観点から研究しています。

【先生より】

ジェンダーや格差や貧困、紛争問題など、社会の諸問題について文化人類学で考えるとどうなるのかといったことをゼミのみんなで意見交換してもらっています。テーマや課題はさまざまです。

【連絡先】

atsuko@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

春学期:理論研究・概論の補強

秋学期:文献研究・ethnography購読など各論研究

【活動時間】

開講時間:水曜日1コマ

【課外活動】

・例年であれば国立民族学博物館等の文化人類学に関連する博物館や資料館を訪れます。
(感染症の拡大状況等によっては不開催)

【卒論テーマ】

- ・日本のスピリチュアル・ケアについて
- ・ビザンツにみる世界帝国イデオロギーと生存戦略
- ・自動車の所有で広がる人類のフロンティア
- ・「世俗」における宗教性
- ・エシカルを問う:滋賀県の事例から
- ・犬と人のこれまでとこれから
(日本を中心に犬と人との関係を考察する)
- ・ドミニカ共和国と在外移民の関係
など

【ゼミ生より】

当ゼミの大きな目的は人類学の探求です。人類の営為の研究こそが人類学のテーマであり、その意味で皆さんが持っている様々な興味・感心のほとんどが研究領域になります。

そのため、当ゼミでは自分が本当に興味のあるテーマについて研究できることが一番の特徴です。少しでも興味のタネをお持ちの方は気軽に扉を叩いてみて下さい。人類の営為という膨大な事物に触れることで、何かしらの気づきを得ることができると思います。

【人数】

Iゼミ:男0人 女0人

IIゼミ:男4人 女4人

今のところ隔年開講につきIゼミ生はいません。

【就職(進路)状況】

公務員

大手民間企業(機械メーカー・総合物流・通信事業)
海外留学

【入るための目安(条件)】

異文化理解に関心があること

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

- ・自然の時間特性を考慮したレクリエーション分析
- ・森里海の連環の経済分析
- ・自然と人々の相互作用に関する実証実験
- ・調査対象地区:滋賀、瀬戸内、佐渡、南三陸、大阪など

【先生より】

当ゼミでは、経済学という分析手法をベースに、“私たちは環境にどのような影響を及ぼすのか”、“効率的に環境を保全していくために必要な条件とは何か”、そして“わたしたちが持続可能な経済社会を営むために何をすべきか”など、人間と環境の関わり方について検討します。これら諸問題に対して、ゼミ生の皆さんにテキストの輪読、およびディスカッションを通して、最終的には自問自答できる力を身につけて欲しいと思います。

【連絡先】

k-matsushita@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

専門演習Ⅰ:指定された参考書をもとに、個人で発表をし、ディスカッションを行います。年度によって内容は異なります。

専門演習Ⅱ:専門演習Ⅰで学んだ知識を実証分析に適用することを目指し、統計データの可視化及び計量分析に関する講義を行います。

専門演習Ⅲ:就活に軸足を置きつつ、ゼミ活動を行います。就活終了後から本格的に卒論作成に取り組んでもらいます。

専門演習Ⅳ:卒論完成に向けて先行研究レビュー、論文構成の精緻化、データ収集・分析等を集中的に行います。卒論内容について学生同士で議論しながら進めてもらいます。

【活動時間】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:水曜3限

専門演習Ⅲ・Ⅳ:水曜4限

【課外活動】

2022年度より徐々に課外活動を再開しており、年度ごとにゼミ生が自主的に企画を考えています。

※実施状況は社会情勢に応じて変わります。

【卒論テーマ】

フェア・トレード、3R活動、地域活性化、観光公害、自然管理に地域文化が果たす役割、自然リスクの価値評価分析など様々です。

【ゼミ生より】

松下ゼミでは環境問題について経済学の視点から分析し、話し合っています。分からないところを質問しあうことで理解を深め、また難しいところは先生が詳しく教えてくださるので、環境経済学に興味がある人はぜひ検討してみてください。穏やかに落ち着いた雰囲気ので、先生は優しく気さくな方です。比較的自由度の高いゼミなので部活やサークルとの両立も可能です。

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ:男5人 女6人

専門演習Ⅲ・Ⅳ:男9人 女4人

【就職(進路)状況】

金融系、製造系、メーカー、公務員など特に傾向はありません。

【入るための目安(条件)】

特にありません。

宗野 隆俊ゼミ MUNENO TAKATOSHI

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野・概要】

「人々が公共的なことがらを粘り強く議論し、時に妥協もしながらコンセンサスをつくり、その責任を担っていく」プロセスを研究しています。

研究テーマのキーワードは、やや抽象的ですが、「参加」「公共性」「シビック・エンゲイジメント」「公正な社会」「個人と社会」等々です。

【先生より】

世のなかには、時間をかけて考える価値のあることが、意外とたくさんあります。若い人たちがそのことに気づききっかけを用意し、ものごとを徹底的に考えぬく力を養う手伝いをしたいと思います。

「深く楽しく学び、人生をより豊かにする」ための土台を、このゼミで築いてほしいです。

【連絡先】

muneno@biwako.shiga-u.ac.jp

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

研究テーマ、研究の進め方、使用するテキストや資料は、全員で協議して決定します。3回生の最初期は、テーマ設定、研究グループ分け、テキスト選定などに費やし、GW後に本格的に研究を開始します。

また、発表のローテーションを機械的に組むことはせず、1つのテーマにじっくりと取り組みます。同じテーマについて、異なる先行研究や資料を用いて、数回をかけて議論することもあります。

ゼミの運営は、報告チームの発表と全員の討論で成り立ちます。教員はテキストの選定に関するアドバイスや討論のサポートをしますが、「主役は一人ひとりのゼミ生」です。

過去数年間のテーマには、「代表制と民意を考える」「くじ引き民主主義：一人一票へのオルタナティブ」「権威主義は私たちに無縁のものか」「第4次産業革命のなかの教育」「教育格差をどう考えるか」等々があります。

【活動時間】

金曜日3限(3回生ゼミ)と4限(4回生ゼミ)に開講する予定です。

【課外活動】

新型コロナの影響もあり、課外活動は控えてきました。

【卒論テーマ】

テーマは、各自が発表を繰り返すなかで具体化していきます。教員は、当該テーマに関わる着眼点や論点の提示、先行文献に関する助言を行います。過去には、以下のような卒論がありました。

『日本におけるツーリズム・ジェントリフィケーション』

『現代ゲームの変化と対面の価値』

『自己責任・能力主義と教育：教育における結果は自己責任か』

『政治における男女平等を目指して』

【ゼミ生より】

一言でいうと、宗野ゼミは新しい刺激があって面白いです。

私が思うこのゼミの魅力は普段は話せない社会に対するモヤモヤ感について話ができることだと思います。ゼミを通じて仲間と議論していると、自分にはなかった新しい立場の視点を知ることができます。また、他人との関心の相違から自分がどのような立場で考えているのかにも気が付くことができます。このような刺激ある議論ができることは、他では体験できない貴重な時間だと思います。

ちなみに今学んでいることのキーワードは民主主義、権威主義、教育格差です。これらの言葉を聞いて興味が湧いた人ぜひ一度のぞいてみてください。

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ：11人

専門演習Ⅲ・Ⅳ：6人

【就職(進路)状況】

メーカー、製薬、IT、コンサルティング、物流、交通、金融、証券、生保、教育、公務員(市、特別区、府県、国)、大学院進学など。

【入るための目安(条件)】

かなり多くの書籍や資料を読み、時間と手間をかけて仲間と議論を重ねます。思考をめぐらせ、未知のことに触れ、(自分以外の)他者と議論することに喜びを感じることでできる人に、応募してほしいと思います。

データサイエンス

学部

川井 明ゼミ KAWAI AKIRA

I.ゼミの先生のプロフィール

【研究分野】

- 高度交通システム(車車間通信、ナビゲーション、ロードレイジ、運転者挙動センシング、VR道路横断シミュレーション、交通流量最適化)
- ICT(歩行モーションセンシング)

【先生より】

リベラルアーツの観点で英語力、コミュニケーション力、プレゼン力、そして日本語以外の情報源から情報を収集する能力を育てる。また、外部機構(県警、市、企業)との共同研究を盛んに実施しており、ゼミ生の対外発表やメディア露出の機会も多い。気軽に研究室訪問して相談してください。Youtubeにもゼミ発表会の動画を公開しています。

【研究室見学可能日時】

研究室426B、随時(事前にメール連絡)

- メールアドレス

akira-kawai@biwako.shiga-u.ac.jp

- 研究室ホームページ

<http://www.kawai-lab.com/>

II.ゼミのプロフィール

【ゼミの内容】

- 1 英語ニュースの輪講
 - ・外国サイトのニュースを好きに選ぶ(選挙、香港デモ、地球温暖化、ゲーム、珍事件など)
 - ・実施時期:ゼミ1~ゼミ3
 - ・1人1回約3~5分スライド形式
- 2 ホームページ作成
 - ・ベースはHTMLで作成(PHP利用可能Webスペース有)
 - ・インタラクティブ機能を実現、外部メディア埋め込みなど
 - ・実施時期:ゼミ1
- 3 各テーマについて調査研究
 - ・ロードレイジ
 - ・歩行能力センシングデータ
 - ・オブジェ運転者挙動データ
 - ・彦根市救急搬送
 - ・VR道路横断シミュレーション
 - ・実施時期:ゼミ1~ゼミ3

【活動時間】

木2限、3限(令和6年度より)

【卒論テーマ】

- VR体験が被験者の行動に与える影響と高齢者及び非高齢者の横断能力の比較分析
- VR空間を用いた横断歩道横断の分析

- 運転挙動データを用いて運転者の視野範囲を可視化するツールの開発および社会実験

- 地域別に見た彦根市救急出動件数の傾向

- 3次元関節データの可視化及び分析する歩行評価ツールの提案

- スマートフォン普及理由の考察とながらスマホ危険性の分析

【ゼミ生より】

2週間に1回、英語ニュースについて調べ発表する機会があり、英語の学習とプレゼン資料の作成について豊富な経験を積むことができる。

データ分析に関しては、ロードレイジに関するものやオブジェ運転者挙動データ、彦根市救急搬送データなど幅広いデータに触れることができる。データの可視化ツール作成に取り組んでいる人も多い。

また、川井ゼミでは自主性を重んじているため、基本的に自分のペースで学習を進めることができる。

【人数】

専門演習Ⅰ・Ⅱ: 0人

専門演習Ⅲ・Ⅳ: 10人

【入るための目安(条件)】

- プログラミングに対して興味を持ち、自前のノートパソコンを持つこと。
- プログラミング1,2は必須。
- 情報関連講義の受講も推奨。

編集後記

本冊子を新3回生の皆様に提供できますことを大変光栄に思います。新3回生の皆様に、後悔のないゼミ選択をしていただくために、学内ゼミナール大会の開催に併せ、本冊子を作成いたしました。少しでもお役にたてれば幸いです。冊子をご活用いただきながら、ぜひ学内ゼミナール大会にご参加いただき、最良のゼミ選択と素晴らしいゼミ生活のスタートを実現していただくことを願っております。

ゼミは先生と近い距離で研究のお話を聞くことができ、また現役の先輩やOB・OGの方々からアドバイスを頂ける貴重な場です。このような交流から得られる影響は大きいものとなります。さらに、グループワークを通じて普段は経験できないことを学び、その活動を通してゼミ生同士の一生の絆が芽生えることも多くあります。ゼミは皆様の参加の仕方次第で、より多くの知識と刺激をもたらし、自己成長を促すものとなるでしょう。このように重要な場であるからこそ、より早く本冊子をお配りし、時間をかけて自分に合ったゼミを選択していただきたいと思っております。

最後に、本冊子を編集するにあたって、協力していただいた多くの方々に心から感謝申し上げます。紹介文の依頼を引き受けてくださった先生方と各ゼミの常任委員の皆様に感謝いたします。学務課教務係、学生支援課を中心とする職員の皆様、この企画に携わった方々、私たちを支え、貴重なアドバイスをしてくださったすべての方々に感謝いたします。この場をお借りして、改めて深く感謝申し上げます。

ゼミナール協議会員一同は、学生の勉学生活の発展と向上のために全力を尽くし、活動してまいりますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。

ゼミナール協議会 安田 大地

編者

安田 大地
山本 大葵
月岡 信人
長屋 龍斗
福田 早智
山川 瑛士
山本 祐正
岡本 広大
葛迫 ゆい
津村 飛月
安藤 光
上野 冴透
加納 大智
趙 維瑄

原稿収集

ゼミナール協議会

2024年度ゼミ紹介冊子

発行日/ 令和5年9月1日

発行者/ 滋賀大学ゼミナール協議会 中央執行委員会



SHIGA UNIVERSITY